

YNU

20

横浜国立大学概要

YNU PROFILE

2020

COLLEGE of EDUCATION

COLLEGE of ECONOMICS

COLLEGE of BUSINESS ADMINISTRATION

COLLEGE of ENGINEERING SCIENCE

COLLEGE of URBAN SCIENCES

GRADUATE SCHOOL of EDUCATION

GRADUATE SCHOOL of INTERNATIONAL SOCIAL SCIENCES

FACULTY of INTERNATIONAL SOCIAL SCIENCES

GRADUATE SCHOOL of ENGINEERING SCIENCE

FACULTY of ENGINEERING

GRADUATE SCHOOL of ENVIRONMENT and INFORMATION SCIENCES

FACULTY of ENVIRONMENT and INFORMATION SCIENCES

GRADUATE SCHOOL of URBAN INNOVATION

FACULTY of URBAN INNOVATION

0

2

0

SINCE 1949

PHILOSOPHY

横浜国立大学憲章

- | | | | |
|-----|----------------------------------|-----|------------|
| 001 | 横浜国立大学憲章 | 019 | データでみるYNU |
| 002 | 学長挨拶 | 020 | 役員・教職員数 |
| 004 | 沿革 | 022 | 学生数 |
| 008 | 運営組織 | 025 | 入学者の状況 |
| 010 | 学部 | 026 | 卒業生・修了者の状況 |
| 012 | 大学院 | 027 | 学位授与者数 |
| 014 | 附属図書館／附属学校 | 027 | 授業料免除・奨学金 |
| 015 | 高等研究院／
ダイバーシティ戦略推進本部／
全学機構 | 028 | 教育研究プロジェクト |
| 017 | 全学教育研究施設 | 030 | 附属図書館の状況 |
| 018 | 学生支援施設等 | 030 | 社会連携 |
| | | 034 | 国際交流 |
| | | 040 | 財務・施設 |

-
- | | |
|-----|----------|
| 042 | キャンパスマップ |
| 044 | 部局等所在地 |
| 045 | 交通案内 |

INDEX

YNU PROFILE 2020

横浜国立大学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、21世紀における世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを宣言する。この理念を実現するために以下のことがらを長期の目標として定める。

Be ACTIVE

実践性

諸問題の本質を見極め、時代の変化に対応し得る柔軟で創造的な問題解決能力を涵養する。現実の生きた社会に原点を置く学問を志向し、教育と研究の成果をもって社会の福祉と発展に貢献する。

Be INNOVATIVE

先進性

国内外の研究者と協調しつつ最先端の研究成果を創出して、人類の知的発展を主導する。教育、研究、社会貢献において、自由な発想と斬新な取り組みを支える柔軟な組織を構築し、効果的な運用がなされるよう努力する。

YNU

4つの精神

Be OPEN

開放性

市民社会、地域、産業界、国、諸外国が抱える課題の解決に寄与する教育と研究を実践する。学生と教職員の社会参加を支援し、教育、研究、運営のすべての面で社会に開かれた大学を目指す。

Be GLOBAL

国際性

世界を舞台に活躍できるコミュニケーション能力を持ち、異文化を理解する人材を育成するとともに、留学生・研究者の受け入れ・派遣を促進し、教育と研究を通じた諸外国との交流の拡大を図る。

以上、実践を旨とする横浜国立大学は、透明性の高い組織と運営体制を構築し、計画、実行、評価のサイクルにより個性ある大学改革を推進する。さらに、都市空間に在りながら、きわだって緑豊かなキャンパスを有する本学に集うすべての学生と教職員は、恵まれた環境を維持しつつ、心身ともに健康な大学生活を営むことを目指す。

平成16年4月1日 横浜国立大学

TOP MESSAGE

学長挨拶

PROFILE

1954年東京都北区生まれ。経済学修士。環太平洋産業連関学会会長、中国産業連関学会顧問などを歴任。研究分野は比較経済システム論、産業連関論、環境経済論。主な著書・研究に「マイコンによる経済学」（青木書店・共著）、「環境・エネルギー・成長の経済構造分析」（『経済分析』第134号経済企画庁経済研究所・共著）、「Economic Integration in East Asia」The World Economy Vol28-12,2006、「リスク共生学—先端科学技術でつくる暮らしとあらたな社会」（丸善出版・共著）など。



21世紀グローバル新時代において、
グローバルとローカルの接点である
横浜に位置するOne Campusを活かし、
多様なセクターと国内外を問わずオープンに連携し、
文理融合による教育、研究、社会貢献を機動的に推進することで、
グローバル・エクセレンスな研究大学を目指します。

21世紀に入り、中国をはじめとする新興国の台頭、Brexitやトランプ政権の誕生など世界の政治経済は大きく変化してきました。そして、IoT、AI・データサイエンス、量子情報通信などデジタル化を中心とする科学技術も急速に進展している一方で、気候変動や地震等に伴う大規模自然災害の増大、コロナウィルスなど感染症の世界的拡大は、社会が不透明で予測困難な時代に入ったことを示しています。

このような時代だからこそ、横浜国立大学は、人間、社会、自然に関する学術研究を強化し、今後の日本および世界のイノベーションと社会経済システムの改革を先導し、SDGsに貢献するため、グローバル・エクセレンスな研究大学を目指します。

世界水準の研究に基づき、世界や地域で信頼される実践的人材の育成に向けて、体系的な専門教育を基盤とし、文理融合による教育を学部から大学院まで推進します。

多様な背景をもつ人々と積極的なコミュニケーションを取り、複雑な社会課題の解決に協力して取り組む資質・能力を育成するために、ダイバーシティを重視します。

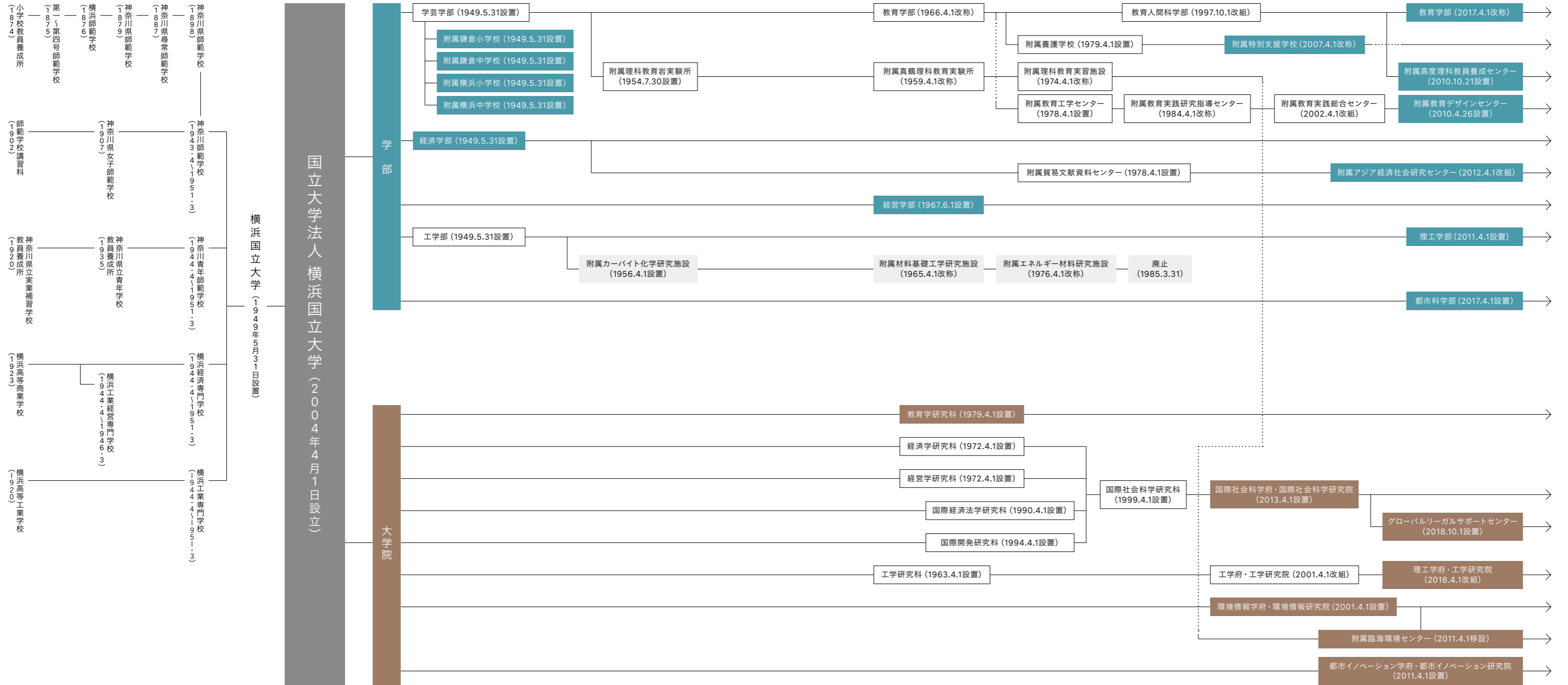
横浜・神奈川をフィールドとし、少子高齢化、産業振興、地域再生などローカルな課題にも積極的に取り組み、社会と連携した実践的な研究と教育を効果的に展開します。

多くの留学生と共に学ぶ国際性豊かなキャンパスを充実し、教育、研究、社会貢献、ダイバーシティ、キャンパス環境のいずれにおいてもグローバル・エクセレンスを目指します。

国立大学法人
横浜国立大学長

長谷部 勇一

沿革



歴代学長

初代	富山 保 昭和24.5.31~昭和27.8.4
事務取扱	江国 正義 昭和27.8.5~昭和28.4.20
第2代	江国 正義 昭和28.4.21~昭和34.3.31
第3代	黒澤 清 昭和34.4.1~昭和40.3.31

事務取扱	中村 康治 昭和40.4.1~昭和40.5.31
第4代	中村 康治 昭和40.6.1~昭和44.2.28
事務取扱	水戸部 正男 昭和44.3.1~昭和44.8.31
事務取扱	越村 信三郎 昭和44.9.1~昭和45.2.28

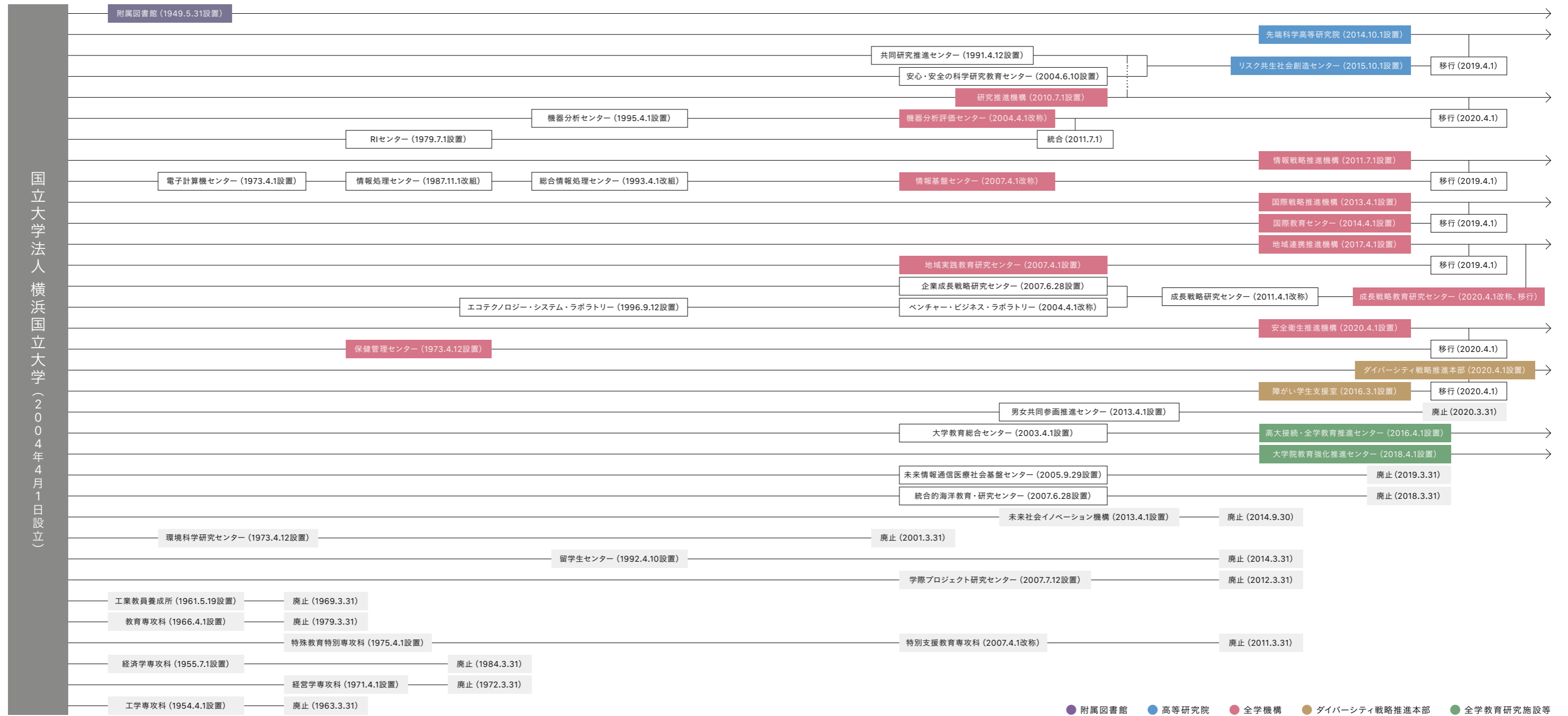
第5代	越村 信三郎 昭和45.3.1~昭和48.2.28
第6代	水戸部 正男 昭和48.3.1~昭和51.2.29
事務取扱	野村 正七 昭和51.3.1~昭和51.3.31
第7代	久保村 隆祐 昭和51.4.1~昭和54.3.31

第8代	野村 正七 昭和54.4.1~昭和60.3.31
第9代	横山 亨 昭和60.4.1~昭和63.3.31
第10代	太田 時男 昭和63.4.1~平成6.3.31
第11代	野村 東太 平成6.4.1~平成9.3.31

第12代	板垣 浩 平成9.4.1~平成15.3.31
第13代	飯田 嘉宏 平成15.4.1~平成21.3.31
第14代	鈴木 邦雄 平成21.4.1~平成27.3.31
第15代	長谷部 勇一 平成27.4.1~



沿革



YNUカラー

スクールカラーの「YNUブルー」

DIC 641	C100 M60 Y0 K0 R0 G91 B172
---------	-------------------------------

横浜国立大学は、長い間伝統的にブルーを基調としたスクールカラーを使用してきました。このブルーを大切にしながら、横浜から世界への広がりやインテリジェントな未来をより深く感じさせるロイヤルブルーを全学のスクールカラーとしています。

教育学部・教育学研究科

DIC 2547	C60 M8 Y100 K0 R114 G177 B45
----------	---------------------------------

経済学部

DIC 282	C24 M92 Y32 K0 R194 G46 B107
---------	---------------------------------

経営学部

DIC 242	C25 M42 Y100 K0 R201 G154 B6
---------	---------------------------------

理工学部

DIC 135	C85 M0 Y38 K0 R0 G170 B174
---------	-------------------------------

都市科学部

DIC 2211	C23 M39 Y0 K0 R197 G156 B255
----------	---------------------------------

国際社会科学部・研究院

DIC 202	C8 M67 Y100 K0 R226 G113 B2
---------	--------------------------------

理工学府・工学研究院

DIC 181	C93 M29 Y0 K0 R0 G133 B206
---------	-------------------------------

環境情報学府・研究院

DIC 2564	C94 M6 Y80 K0 R0 G153 B81
----------	------------------------------

都市イノベーション学府・研究院

DIC 435	C100 M85 Y48 K20 R34 G48 B79
---------	---------------------------------

附属図書館

DIC 462	C58 M67 Y12 K0 R128 G96 B155
---------	---------------------------------

先端科学高等研究院

DIC 198	C0 M100 Y100 K0 R230 G0 B18
---------	--------------------------------

全学教育研究施設

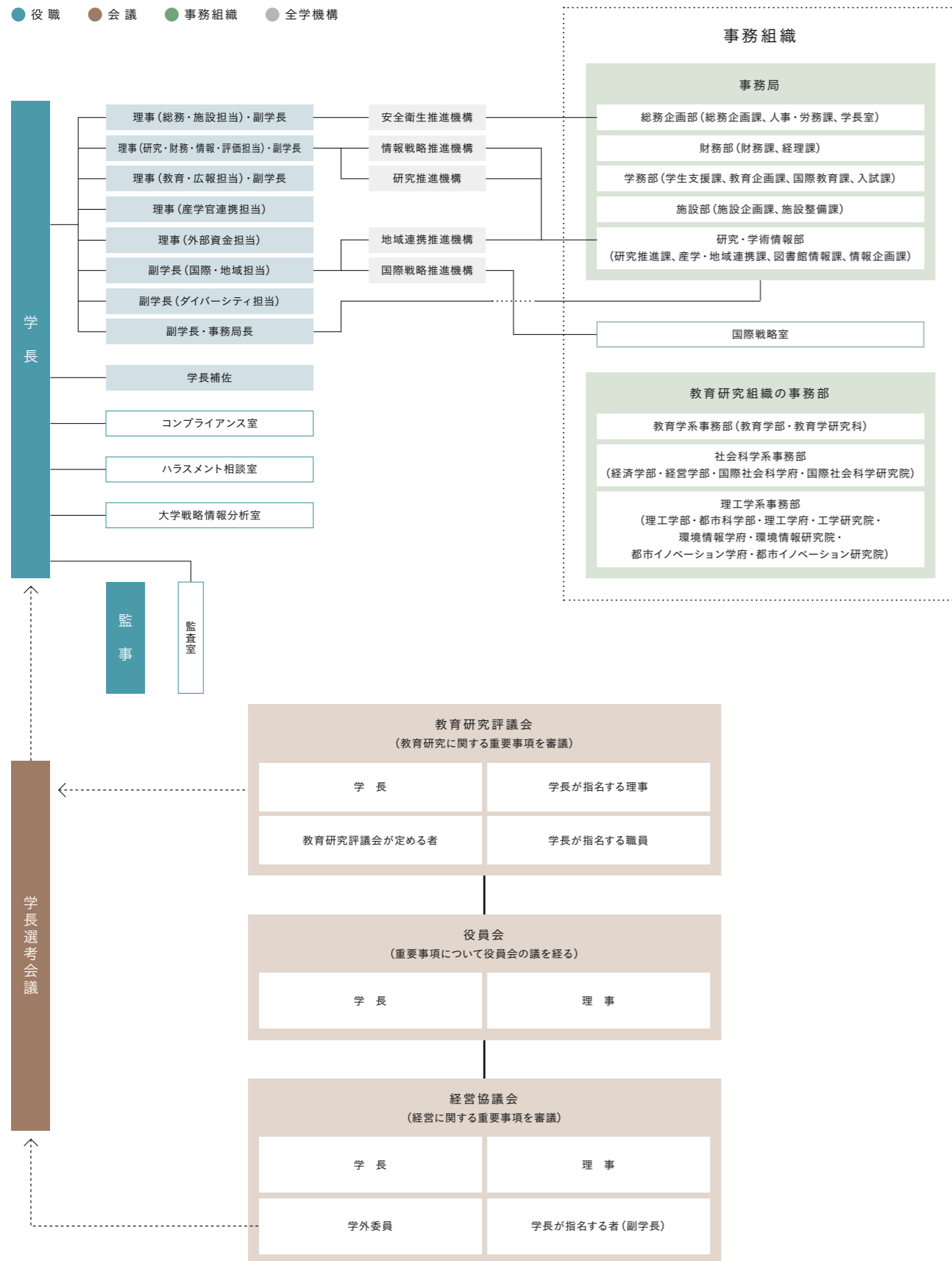
DIC 430	C63 M26 Y25 K0 R101 G158 B178
---------	----------------------------------



運営組織

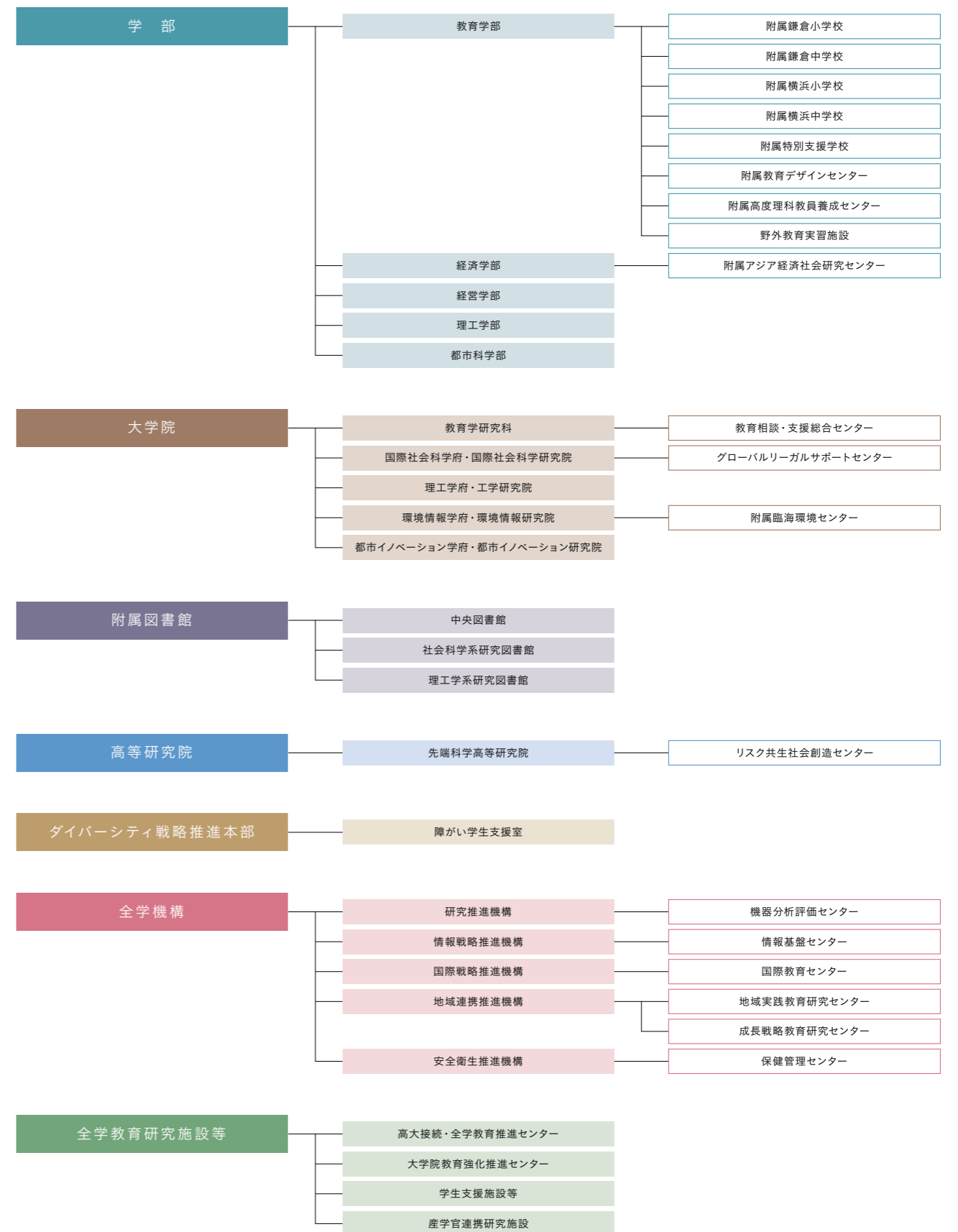
運営組織図

2020年7月1日現在



教育研究組織図

2020年7月1日現在



学部

EDUCATION

教育学部

www.edu.ynu.ac.jp

教育学部は、教育に関わる諸課題を総合的、かつ多角的な見地から理解するとともに、実践的・先進的な資質・能力を身につけた教員の養成を目的としています。神奈川県内唯一の国立大学教員養成系学部として、文明開化の地・横浜に位置する国立大学ならではの地域や世界とつながる実践的で先進的なカリキュラムを揃え、県内各教育委員会等と連携した教員養成及び教員研修などを通じ、グローバルな視点から教育の未来を切り拓くことのできる人材を輩出することを目指します。

— 課程・コース —

学校教育課程

人間形成コース／教科教育コース／特別支援教育コース



臨時教員養成課程

専門の講師陣による多彩なカリキュラムで、大学短大等卒の教員免許既得者を対象に知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害の特別支援教育を担当する質の高い教員を1年間で養成するコースと、現職教員を対象に特別支援教育コーディネーターを養成するコースがあります。なお、本課程は令和2年度をもって廃止となり、令和3年度の募集はありません。

ECONOMICS

経済学部

www.econ.ynu.ac.jp

経済学部は、国際色豊かで、理論と実務のバランスの取れた教育を進めています。2017年4月に、初級レベルでは経済学の基礎を広く学び、中級レベルでは主分野・副分野を学生自らが選択して専門性を身につける一学科体制としました。英語による講義・演習を増やし、数理・統計分析教育を強化しました。また世界で活躍するビジネス人材育成を目的として、経済学を主専攻、経営学を副専攻とし、海外学修経験を必須とするGlobal Business and Economics教育プログラムを2017年4月に経営学部と共同で開設しました。

— 学科 —

経済学科



BUSINESS ADMINISTRATION

経営学部

www.cba.ynu.ac.jp

経営学部では、経営学の3つの領域であるマネジメント分野、アカウンティング分野、マネジメント・サイエンス分野を基礎から段階的、横断的に学び、それらをグローバルな視点から総括するカリキュラムとなっています。経営学という学問最大の特徴として、産業界との連携を重視しており、実践的な教育により、グローバルに活躍できるビジネス人材、社会の革新を主導する変革型リーダー、特定分野の高い専門性と幅広い専門知識を統合できるゼネラリストの養成を目指しています。

— 学科 —

経営学科



ENGINEERING SCIENCE

理工学部

www.es.ynu.ac.jp

理工学部は3学科(機械・材料・海洋系学科、化学・生命系学科、数物・電子情報系学科)から構成され、学科の中に専門教育に対応した10の教育プログラム(EP)があります。専門基礎科目と併せて、早期の教育課程で学生が理工工学系の素養を身につけ、その後専門教育を受けるカリキュラムとなっています。工学的センスを持った理学系科学者、理学的センスをもった工学研究者・技術者の育成を目指します。

— 学科・EP —

機械・材料・海洋系学科

機械工学EP/材料工学EP/海洋空間のシステムデザインEP

化学・生命系学科

化学EP/化学応用EP/バイオEP

数物・電子情報系学科

数理科学EP/物理工学EP/電子情報システムEP/情報工学EP



URBAN SCIENCES

都市科学部

www.cus.ynu.ac.jp

都市科学とは、これからの都市はどうあるべきか、という重要なテーマに、科学的に取り組む学問です。2017年4月に新設された都市科学部は、魅力ある都市の社会・文化の創出に必要な人文社会科学を学ぶ都市社会共生学科、創造的な建築や都市環境・まちづくりを学ぶ建築学科、都市の活動を支える基盤施設に関わる技術やマネジメントを学ぶ都市基盤学科、自然環境および社会環境のリスクを理解し、持続可能な都市づくりを学ぶ環境リスク共生学科の4学科から構成されています。文理にわたる幅広い視点から都市の未来へ挑戦する人々を育成します。

— 学科 —

都市社会共生学科

建築学科

都市基盤学科

環境リスク共生学科



大学院

EDUCATION

教育学研究科

www.gsedu.ynu.ac.jp
pste.ynu.ac.jp

教育学研究科には2専攻あり、教育実践専攻には、教育科学・教科教育学・教科内容学を接合させ、新たな教育理念や教育方法を開発しデザインする教育デザインコースと、特別支援学校教諭専修免許状取得や臨床心理士の資格など高度な専門的能力の獲得を目的とする特別支援教育・臨床心理学コースの2コースがあります。さらに、2017年4月から教職大学院(高度教職実践専攻)を設置し、地域・学校の抱える教育課題を共有し、学校経営の中核として活躍できる教員と積極的に学校づくりに参画できる教員の養成及び育成を目指しています。



— 課程・専攻 —

修士課程

教育実践専攻(教育デザインコース/特別支援教育・臨床心理学コース)

専門職学位課程

教職大学院(高度教職実践専攻)

教職大学院 …… 教職大学院(高度教職実践専攻)は、神奈川県内の教育課題を踏まえ、県教育委員会と3政令指定都市教育委員会と連携・協働しつつ、理論と実践の往還により実践的問題解決能力の向上を目指した教育を行っています。修了した者には教職修士(専門職)の学位が授与されます。

INTERNATIONAL SOCIAL SCIENCES

国際社会科学府・国際社会科学研究院

www.gsiss.ynu.ac.jp

国際社会科学府・研究院は、経済学・経営学・国際経済法学という3専攻を有し、社会科学の融合的教育を進めていくとともに、国際性のある実践的な教育の充実を図り、グローバル新時代に求められる人材の育成を行っています。国際的諸問題に対応する能力を育成するために、専攻横断的プログラムや英語による教育プログラムを設けるなど、柔軟で体系的な履修体制を構築し、グローバルかつ多様な人材が日々切磋琢磨する、ユニークな教育研究環境を提供しています。



— 課程・専攻 —

博士課程(前期・後期)

経済学専攻/経営学専攻/国際経済法学専攻

専門職学位課程

法曹実務専攻(法科大学院)

法科大学院 …… 法曹実務専攻(法科大学院)は、豊かな学術研究のベースの上に法曹養成教育を位置づけるべく社会科学系総合大学院の一専攻として、開放性を大切に、かつ研究者教員と実務家教員との密度の濃い連携協力により、理論的かつ実践的な教育を追求しています。(2019年度から学生募集停止)

ビジネススクール …… 博士課程前期、横浜ビジネススクールでは、ビジネスパーソン対象の少人数授業が平日夜間と土曜日に開かれます。経営に関する専門知識の深化と統合によって、実務上の課題の解決に活かす実践的な経営学教育プログラムを展開しています。

ENGINEERING SCIENCE

理工学府・工学研究院

www.fse.ynu.ac.jp
kenkyuin.eng.ynu.ac.jp

理工学府は、高い倫理観とグローバルに活躍するために必要な知識と能力を培い、理学と工学の両方のセンスを兼ね備えた理工系人材を育成します。博士課程前期では、自らの専門分野における専門科目で培われる知識と能力に加え、基盤的学術に関する幅広い教育と、独創的な技術と知の創造を可能にする研究活動を通して、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下して解決しうる技術者・研究者を育成します。博士課程後期では、自ら探求し発見した課題に対し、先進的な研究活動を通して、広く社会に受容される発信能力により学術と産業の開拓を先導できる人材、すなわち、イノベーションの創出と発展を担う創造性豊かな高度専門職業人のリーダー人材を育成します。



— 課程・専攻 —

博士課程(前期・後期)

機械・材料・海洋系工学専攻/化学・生命系理工学専攻/数物・電子情報系理工学専攻

ENVIRONMENT AND INFORMATION SCIENCES

環境情報学府・環境情報研究院

www.eis.ynu.ac.jp

環境情報学府・研究院は、「環境」と「情報」を基軸に文理融合・異分野融合を実践する大学院です。SDGsやSociety5.0といった安心・安全な持続可能社会の構築に貢献する人材を育成します。学府には人工環境専攻、自然環境専攻、情報環境専攻があり、それぞれの研究分野における専門教育が行われます。その一方で、教員自らが文理融合・異分野融合する姿を披露する「環境情報リテラシー科目」、高度専門職業人として持つべき汎用な能力を育成する「環境情報ジェネリックスキル科目」が用意されており、専門性を極めながらも、幅広い見識とグローバルな視点を持ち、他分野の人とも円滑にコミュニケーションのできる人材を育成します。



— 課程・専攻 —

博士課程(前期・後期)

人工環境専攻/自然環境専攻/情報環境専攻

URBAN INNOVATION

都市イノベーション学府・都市イノベーション研究院

www.urban.ynu.ac.jp

都市イノベーション学府・研究院は、急激に変化する都市の環境と文化・社会を教育研究領域として2011年4月に設立されました。サステイナビリティとクリエイティビティをキーワードにしています。建築、都市環境、都市基盤の面からの持続可能な発展と、多文化、及びその社会が引き起こすコンフリクトを創造的に乗り越えて、新たな文化・社会を生み続ける創造都市をめざして、学術研究ばかりではなく、都市の現在に向けて多様な視点を提供していきたいと考えています。



— 課程・専攻 —

博士課程前期

建築都市文化専攻/都市地域社会専攻

博士課程後期

都市イノベーション専攻

Y-GSA …… Y-GSAは少人数スタジオ制教育により、建築家を養成する日本で唯一の大学院です。世界的建築家の妹島和世、西沢立衛、乾久美子、藤原徹平、大西麻貴による設計教育と、寺田真理子を取り組む国際的なりサーチやワークショップによって、建築や都市の未来をデザインします。

連合学校教育学研究科

www.u-gakugei.ac.jp/~graduate/rengou/

東京学芸大学、埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学の教育学部及び教育学研究科を母体として構成される連合大学院で、博士課程後期3年のみの課程からなる独立研究科です。学校教育学専攻の1専攻で組織し、9講座(教育科学関係の3講座と教科の内容を研究する基礎科学と教科教育学とを含んだ教科領域関係の6講座)で構成されています。大学における教員養成の充実を通して小・中・高等学校の教育の発展を図ることを目指して、教育の理論と実践に関する諸分野について、その専門的研究者の養成、教員養成・研修の充実のための研究等を行います。

— 課程・専攻 —

博士課程後期

学校教育学専攻

附属図書館

www.lib.ynu.ac.jp

附属図書館は、中央図書館、理工学系研究図書館及び社会科学系研究図書館の3館からなり、快適な学習環境の提供と各種資料の収集整理を通じて、本学の教育研究活動をサポートしています。中央図書館は、学生が議論しながら学習できる場所であるグループ学習エリアやワーキングスタジオをはじめ、イベント用のホール、軽飲食のできるカフェ、卒業制作等に使用可能な情報ラウンジ、映像資料等視聴用のAVブース、充実したコンピュータ環境を備え、理工学系研究図書館の語学学習室や研究個室とともに従来の図書館の枠を超えた多機能文化空間を構成しています。下記「特別コレクション」記載の貴重資料を含め、3館で約132万冊を所蔵しています。



特別コレクション

「シャープ勅告」をまとめた米国の財政学者カール・シャープ博士旧蔵の、図書・雑誌・文書を集めたシャープ・コレクションや、フランス革命期の政治家・経済学者・思想家として、近代ヨーロッパに巨大な足跡を残したミラボー伯の著作・演説・書簡を集めたミラボー伯コレクションなど貴重なコレクションを所蔵しています。

附属学校

附属鎌倉小学校

www.kamakurasho.ynu.ac.jp

鎌倉の中心であった鶴岡八幡宮に隣接している附属鎌倉小学校は、明治8年に発足しました。小中一貫の研究主題として「自立に向かいたくましく生きる児童・生徒の育成を目指す教育の充実」を掲げ、カリキュラムデザイン・授業デザインに取り組んでいます。ユネスコスクールにも認定されています。



附属鎌倉中学校

www.kamajhs.ynu.ac.jp

小中一貫の研究主題として「自立に向かいたくましく生きる児童・生徒の育成」を掲げ、神奈川県教育委員会や地域の公立学校と連携して教科指導等の実践研究を推進しています。また、ユネスコスクールの活動にも積極的に取り組んでいます。本校伝統の有志合唱団は、令和元年度の県大会で金賞を受賞し、関東大会に出場しました。



附属横浜小学校

yokosyo.sakura.ne.jp

明治43年に神奈川県女子師範附属小学校として横浜の地に発足以来、調和と統一のある人間性豊かな子どもの育成を目指しています。港を一望する山手の丘の上で、友達とかわりながら、「共に学びをつくりあげる子どもの姿」を追い求めながら教育活動を行っています。



附属横浜中学校

yokochu-ynu.com

昭和22年神奈川県女子師範学校女子部附属中学校として発足。平成23年度からは県立光陵高等学校と中高連携入試が始まり、小中高大連携を推進しています。また、PC1人1台の環境の中で、ICT活用と先進的な授業研究が特色です。



附属特別支援学校

fuyou.ynu.ac.jp

附属特別支援学校は、知的障害のある子どもたちが学ぶ学校です。「やさしい心 じょうぶな体 がんばる力」を教育目標として掲げ、一人ひとりの発達や障害の状態、特性等に応じた教育を実践し、各自の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な知識、技能及び態度を養っています。



高等研究院

先端科学高等研究院

ias.ynu.ac.jp

先端科学高等研究院は、大学の改革と強化を先導できる体制を試行・創出しながら、「リスク共生」の理念に基づいて、安全・安心で持続可能な活力ある社会をグローバルに実現するために、世界を先導できる研究を推進しています。2018年度からの第2期では、サイバー・ハードウェアセキュリティ、インフラストラクチャリクス、社会価値イノベーションの3研究群に配置された8研究ユニットが、国内外から結集した気鋭の研究者・技術者とともに連携し、社会価値創造とオープンイノベーションプラットフォーム形成を目指しています。また、地域の産官民のご協力も得ながら文理融合の体制を整え、リスク共生社会創造センターとの統合や新たな中核研究センターの創設を通じて、最先端研究の推進・開発技術の社会実装を学内外の連携・協働で加速的に推進し、社会実装自体の方法論の確立にも取り組んでいます。

リスク共生社会創造センター

www.anshin.ynu.ac.jp

リスク共生の理念を実現する社会を構築するために本学の最先端の研究成果等を社会に実装する研究・活動を行い、社会としての「リスクの共生のあり方」「最適な調和のある受容のあり方」を模索しながら安全安心の実現と活力のある社会の創造を目指しています。



ダイバーシティ戦略推進本部

「横浜国立大学ダイバーシティ推進宣言」に基づき、2020年4月に設置されました。当本部は、全体施策の企画立案及び関係部局との連絡調整を行う「ダイバーシティ統括部門」、旧男女共同参画推進センターの後継として、全ての学生と教職員に対するジェンダー平等、両性支援を目指す「男女共同参画部門」、障がいのある学生、外国につながるのある学生・教職員、LGBTQIA等、少数者の支援と啓発活動を展開する「バリアフリー推進部門」の3つの部門にて構成されています。

※当本部設置に伴い内部組織に移行した障がい学生支援室については、p18に記載。

全学機構

研究推進機構

www.ripo.ynu.ac.jp

研究推進機構は、2020年4月から、研究戦略推進部門、産学官連携推進部門及び機器分析評価センターの2部門1センター体制としました。研究戦略推進部門では、研究を強力に支援するためにURA制度と研究情報分析体制を導入し、研究関連情報の収集と活用を強化するとともに、研究環境の整備と支援を通じて、各教員が自由な発想に基づいて展開している研究活動を推進しています。また産学官連携推進部門では、重点支援研究分野を設定して本学の強みのある研究を推進すると同時に、企業との未来ビジョンを共有できる大型の共同研究の実施、知財活用等を通じて産学官連携を推進しています。

機器分析評価センター

www.iac.ynu.ac.jp

機器分析評価センターでは、電子顕微鏡や核磁気共鳴装置などの大型機器を含む最先端の精密分析機器を集約的に設置・管理しています。また放射性同位元素 (RI) に関する教育・研究を行うRI教育研究施設が附設されており、ここでは各種の放射線測定およびライフサイエンス研究機器類を設置・管理しています。設置している機器は、学内外の物理・化学・材料・環境科学・生命科学などに関する先端的な研究の推進のために開放しています。また、高校生向け機器体験プログラム、社会人向けの公開講座や近隣企業からの分析相談を受けており、地域社会との連携活動も推進しています。



全学機構

情報戦略推進機構

情報戦略推進機構は、本学ビジョンの実現に向けた情報戦略の策定、情報施策の企画立案とその実現を目的とし、情報戦略部門と情報リスク管理部門において、(1) 情報基盤の構築・運用と情報サービスの提供に関する基本方針の決定と推進、(2) 情報セキュリティに関する基本方針の決定と推進をそれぞれ行なっています。そして、情報基盤センターにおいて、(3) これらの基本方針に基づいた実務を行なっています。本機構では、さらに情報戦略推進機構運営会議において、情報戦略の重要事項に関して、全学的な審議を行なっています。

情報基盤センター

www.itsc.ynu.ac.jp

本学における教育活動ならびに研究活動を効果的かつ効率的に推進するために、組織的な情報セキュリティ管理とITサービス管理の仕組みを取り入れることによって、高品質のITサービスの提供とサービス利用者に対する利活用支援を行なっています。また、情報ネットワークや情報セキュリティをはじめとする情報教育の提供や教材開発、ITサービスの価値創造に向けた先端的ITの調査研究も行なっています。



国際戦略推進機構

www.kokusai-senryaku.ynu.ac.jp

国際戦略推進機構は、横浜国立大学のグローバル人材の育成、国際学術研究及び国際連携をより積極的、戦略的に推進することを目的に、国際的な交流プロジェクトや全学的グローバル教育を担当する「企画推進部門」と、グローバル化の基盤となるコミュニケーションや語学の教育を担当する「基盤教育部門」、留学生に対する日本語・日本事情教育を行うと共に、短期留学国際プログラムの運営等を行う「国際教育センター」で構成されています。また、海外に設置した国際ブランチ（海外協同教育研究拠点）を活用した教育プログラムを実施しています。

国際教育センター

www.isc.ynu.ac.jp

本学の留学生に対する日本語・日本事情教育を行うと共に、短期留学国際プログラムの運営、日本人学生と留学生が共に学ぶ授業科目や外国人留学生のための授業科目を開講しています。また、留学生の相談の対応、日本人学生の留学に関する相談の対応や情報提供を行っています。



安全衛生推進機構

安全衛生推進機構は、安全衛生に関する事故、薬品管理、怪我、病気等の各種リスクを適切に把握し、改善を行うため、2020年4月に設置されました。当機構にて安全衛生管理を組織的に行うことにより、管理体制を強化・推進し、安全衛生に関するリスクを低減させるとともに、安全衛生教育・各種研修を計画的に行い、安全衛生に関する意識の向上を図ってまいります。

※当機構設置に伴い内部組織に移行した保険管理センターについては、p18に記載。

地域連携推進機構

www.chiiki.ynu.ac.jp

地域連携推進機構は、地域連携活動および地域課題解決への先導的役割等を果たすとともに、地域社会と連携する中核拠点となるため、2017年4月に設置しました。学外からの相談窓口を本機構とすることで、「窓口の一本化」による情報一元管理および共有化をすすめ、学内組織と連携して、地域連携活動をより推進していきます。

地域実践教育研究センター

www.chiki-ct.ynu.ac.jp

地域実践教育研究センターでは、グローバルな視野をもって地域課題を解決できる21世紀型人材育成を体系的に行うとともに、内外の諸機関・諸地域と連携しながら教育・研究・実践活動を行い広く情報発信することにより社会に貢献する組織を目指しています。また、さらに社会貢献を柱の一つとする本学の地域連携活動を組織的に推進するため、地域連携推進機構の機構内センターとして、本学の地域連携の取組みを推進します。



成長戦略教育研究センター

www.cseg.ynu.ac.jp

イノベーション人材の育成を目指して経済・経営分野と理工系分野の教員が協力し、成長戦略に関する研究プロジェクトや学内シーズに基づく起業支援を行っています。教育面では、学部生に対するアントレプレナー教育や、大学院生を対象としたインターンシップ等を含む多様な副専攻プログラムにより、実践的な教育を行っています。また博士人材に多様なキャリアパスを提示するドクターキャリア開発事業や、イノベーションをテーマにしたセミナー開催等の地域貢献活動を担っています。



全学教育研究施設

高大接続・全学教育推進センター

www.yec.ynu.ac.jp

高大接続・全学教育推進センターは、2016年度に「大学教育総合センター」を改編して設置されました。学生IR統括部門、高大接続部門、全学教育部門、教育開発・学修支援部門の4部門からなり、本学における高大接続システム改革を推進する中心的な役割を担っています。大学教育の質的転換及び入学者選抜方法の改善のために、学生行動調査等を重視する分析・評価（学生IR）の推進、高大接続学習プログラムの実施、初年次から高年次まで体系的に編成した全学（教養）教育の導入整備および授業改善、卒業後のキャリア形成を見据えつつ学生の主体的な学びの支援などを行っています。



大学院教育強化推進センター

www.yec.ynu.ac.jp/gsec/

大学院教育強化推進センターは、2018年4月に発足し、大学院IR部門、教育開発・学修支援部門の2部門を設置しています。本学大学院教育の機能強化に向けて全学一体で推進する中心的な役割を担い、大学院教育の質的転換及び教育方法の改善のために、大学院学生行動調査等を重視する大学院IRの推進、文理融合及びグローバルとローカルの接点を志向した大学院全学教育科目の開設、体系的に編成した副専攻プログラムの企画や実施などを行っています。



学生支援施設等

学生センター

学生センターは、入学から卒業・修了までの学生生活に密着して関連する業務を取り扱っています。1階は学生への情報発信拠点となるナビ・ポートと、学生の心と体の健康をサポートする保健管理センター、2階は奨学金や学生寮、課外活動などを担当する学生支援課と、授業履修や学籍管理などを担当する教育企画課、および学生の海外留学や留学生の受入・支援などを担当する国際教育課、3階には学生の就職支援を担当するキャリア・サポートルームを設置しています。また、2階ロビーに「なんでも相談室」を設置し、相談職員が常駐しており、学業に関することのほか日常生活に関する相談に応じています。



障がい学生支援室

www.shougai-support.ynu.ac.jp

障がい学生支援室は、学内の関係部局等と連携を図りながら障がい学生への全学的な支援体制を強化し、障がい学生の円滑な修学及び学生生活支援に寄与することを目的としています。障がい学生支援室では、本学に在籍する障がいのある学生が障がいのない学生と同じように教育や研究に参加できるよう、学内の関係部署等と連携して、支援を行っています。なお、相談窓口は、学生センター2階ロビーに設置している「なんでも相談室」をご利用ください。

キャリア・サポートルーム

www.ynu.ac.jp/career/

キャリア・サポートルームは、学生の就職活動のサポート業務を行っています。主に就職情報の提供（求人票・インターンシップ情報の提供、各企業に在籍しているOB・OG情報の検索、日経新聞や経済誌の閲覧、書籍の貸出、就職イベント等の情報提供、就活手帳の配布）をはじめ、就職ガイダンス、公務員ガイダンス、企業を招聘した業界研究セミナーなどの多彩な就職支援行事を開催しています。また、企業等でご活躍された経験豊富な本学OB・OGのキャリア・アドバイザーや、就職活動を終えた学部4年生・修士2年生のキャリア・サポーターが、就職活動を行っている学生の相談にも応じています。本学では、学生がよりよい就職活動を行えるよう、様々な形で支援しています。



保健管理センター

www.hoken.ynu.ac.jp

保健管理センターでは、主に4つの業務を行っています。①定期健康診断を実施しています。②就職、進学、教育実習等に必要健康診断証明書を発行しています。③精神科医、カウンセラーによる心の健康相談を行っています。④ケガや急病が発生した場合、応急処置を行い、必要に応じた医療機関への紹介を行っています。



大学会館

大学会館は、学生・教職員が利用できる福利厚生施設です。学生・教職員が相互交流できる場として、ホール、ミーティングルーム、和室を備えており、学生のサークル活動および研究発表会、音楽会などに利用できます。また、食堂、書籍・文房具及び日用品の店舗等も併設し、学生生活をサポートする施設となっています。



その他の学生支援施設

2020年5月1日現在

学生食堂	第1食堂 / 第2食堂 / Sガーデン(カフェテラス、コンビニエンスストア)
体育施設	体育館(アリーナ、柔道場、剣道場、ダンス場、トレーニングルーム) / 陸上競技場(1周400mトラック) 水泳プール(50m×7コース) / 野球場、庭球場、フットボール場、フットサル場、アーチェリー場 / 弓道場 / 多目的運動場
課外活動施設	文化サークル共用施設 / 体育サークル会館
寄宿舎・宿舍	峰沢国際交流会館(単身用332室) / 留学生会館(単身用128室、夫婦用10室、家族用10室) 大岡インターナショナルレジデンス(学生用279室(単身252室、単身・夫婦27室)、研究者用12室、教職員用20室) 常盤台インターナショナルレジデンス(学生用278室(シェアユニットタイプ112室(1ユニット8戸×14ユニット)、プライベートタイプ166室)、バリアフリー室2室、研究者用23室)

DATA of YNU

YNU PROFILE 2020

データで見るYNU

役員・教職員数

学生数

入学者の状況

卒業生・修了者の状況

学位授与者数

授業料免除・奨学金

教育研究プロジェクト

附属図書館の状況

社会連携

国際交流

財務・施設

役員・教職員数

役員等一覧

【役員・副学長】

学長	長谷部勇一
理事(総務・施設担当)・副学長	高木まさき
理事(研究・財務・情報・評価担当)・副学長	梅原 出
理事(教育・広報担当)・副学長	根上 生也
理事(産学官連携担当)	蛭名喜代作
理事(外部資金担当)	岡田 譲治
副学長(国際・地域担当)	中村 文彦
副学長(ダイバーシティ担当)	梶島 洋美
副学長・事務局長	松川 誠司
監事	内野 淳子
監事	佐藤 一雄

【学長補佐】

教育学部 教授	河潟 俊吾
教育学部 教授	渡部 匡隆
国際社会科学研究院 准教授	池島 祥文
国際社会科学研究院 教授	大森 明
国際社会科学研究院 教授	田名部元成
国際社会科学研究院 教授	常岡 史子
工学研究院 教授	松井 純
工学研究院 教授	丸尾 昭二
工学研究院 教授	吉川 信行
環境情報研究院 教授	四方 順司
都市イノベーション研究院 准教授	田中 稲子
先端科学高等研究院 教授	三宅 淳巳
国際戦略推進機構 教授	四方田千恵

【経営協議会委員】

学長	長谷部勇一
理事(総務・施設担当)・副学長	高木まさき
理事(研究・財務・情報・評価担当)・副学長	梅原 出
理事(教育・広報担当)・副学長	根上 生也
副学長(国際・地域担当)	中村 文彦
副学長・事務局長	松川 誠司
科学技術振興機構顧問	相澤 益男
元三菱商事(株)常勤顧問	亀崎 英敏
芝浦工業大学客員教授	國井 秀子
尚絅学院大学学長	合田 隆史
森ビル株代表取締役社長	辻 慎吾
全国知事会事務総長	古尾谷光男
東京理科大学学長	松本洋一郎

【教育研究評議会評議員】

学長	長谷部勇一
理事(総務・施設担当)・副学長	高木まさき
理事(研究・財務・情報・評価担当)・副学長	梅原 出
理事(教育・広報担当)・副学長	根上 生也
理事(産学官連携担当)	蛭名喜代作

理事(外部資金担当)	岡田 譲治
副学長(国際・地域担当)	中村 文彦
副学長(ダイバーシティ担当)	梶島 洋美
副学長・事務局長	松川 誠司
教育学部長	木村 昌彦
教授	泉 真由子
教授	白取 道博
経済学部長	佐藤 清隆
教授	奥村 綱雄
経営学部長	谷地 弘安
教授	真鍋 誠司
理工学部長	眞田 一志
教授	多々見純一
都市科学部長	川添 裕
教授	勝地 弘
国際社会科学研究院長	石山 幸彦
教授	荒木 一郎
教授	高橋 賢
工学研究院長	梅澤 修
教授	窪田 好浩
教授	丸尾 昭二
環境情報研究院長	大谷 英雄
教授	菊池 知彦
教授	長尾 智晴
都市イノベーション研究院長	佐土原 聡
教授	齊藤 麻人
教授	彦江 智弘
附属図書館長	大原 一興
教養教育主事	関谷 隆夫

【部局長等】

■教育学部	
学部長	木村 昌彦
附属鎌倉小学校長	池田 敏和
附属鎌倉中学校長	池田 敏和
附属横浜小学校長	小松 典子
附属横浜中学校長	松原 雅俊
附属特別支援学校長	徳永亜希雄
附属教育デザインセンター長	野中 陽一
附属高度理科教員養成センター長	加藤 圭司
■経済学部	
学部長	佐藤 清隆
附属アジア経済社会研究センター長	中村 靖
■経営学部	
学部長	谷地 弘安
■理工学部	
学部長	眞田 一志
■都市科学部	
学部長	川添 裕
■教育学研究科	
研究科長	木村 昌彦

■国際社会科学研究院・国際社会科学府	
研究院長・学府長	石山 幸彦
グローバルリーガルサポートセンター長	
	荒木 一郎
■工学研究院・理工学府	
研究院長・学府長	梅澤 修
■環境情報研究院・環境情報学府	
研究院長・学府長	大谷 英雄
附属臨海環境センター長	菊池 知彦
■都市イノベーション研究院・都市イノベーション学府	
研究院長・学府長	佐土原 聡
■先端科学高等研究院	
高等研究院長	長谷部勇一
リスク共生社会創造センター長	滋谷 忠弘
■ダイバーシティ戦略推進本部	
本部長	長谷部勇一
■附属図書館	
館長	大原 一興
■研究推進機構	
機構長	梅原 出
機器分析評価センター長	栗原 靖之
■情報戦略推進機構	
機構長	梅原 出
情報基盤センター長	田村 直良
■国際戦略推進機構	
機構長	中村 文彦
国際教育センター長	根上 生也
■地域連携推進機構	
機構長	中村 文彦
地域実践教育研究センター長	氏川 恵次
成長戦略教育研究センター長	泉 宏之
■安全衛生推進機構	
機構長	高木まさき
保健管理センター所長	大重 賢治
■高大接続・全学教育推進センター	
センター長	関谷 隆夫
■大学院教育強化推進センター	
センター長	根上 生也
■障がい学生支援室	
室長	渡部 匡隆

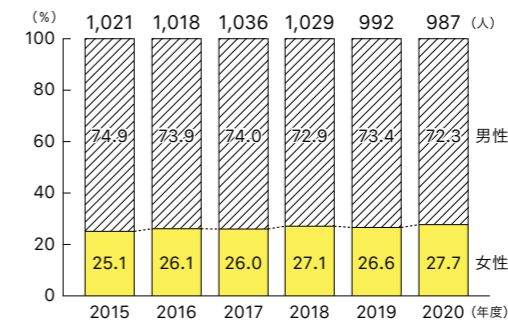
【事務局】

事務局長	松川 誠司
総務企画部長	清水 博史
財務部長	平田 博教
学務部長	高柳 圭悟
施設部長	大堀 浩
研究・学術情報部長	渡邊 弘樹

2020年5月1日現在

教職員男女構成比の推移

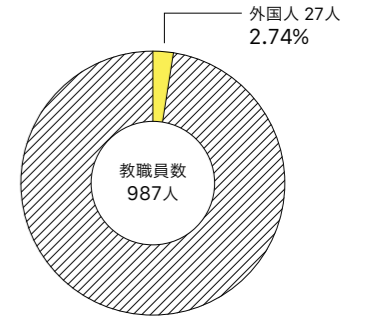
年度	男	女	合計
2015	765	256	1,021
2016	752	266	1,018
2017	766	270	1,036
2018	750	279	1,029
2019	728	264	992
2020	714	273	987



2020年5月1日現在

教職員の外国人割合

2020年5月1日現在



2020年5月1日現在

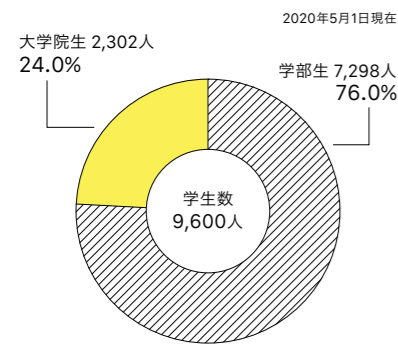
教職員数

区分	教員														附属学校 教諭		事務職員 技術職員		合計			
	教授		准教授		講師		助教		特別研究教員		助手		合計		男	女	男	女	男	女	計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	計		
事務局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	58	109	58	167
教育学部	42	12	13	13	1	2	0	0	0	0	0	0	56	27	83	79	45	0	0	135	72	207
大学院教育学研究科	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	10	0	0	0	0	8	2	10
教育学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13	13	13	26
大学院国際社会科学研究院	59	12	20	9	0	2	0	0	0	1	10	80	33	113	0	0	0	0	80	33	113	
社会科学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	17	13	17	30	
大学院工学研究院	57	1	65	3	5	0	13	1	7	1	2	1	149	7	156	0	0	0	0	149	7	156
大学院環境情報研究院	40	2	25	2	1	1	2	1	1	0	0	69	6	75	0	0	0	0	69	6	75	
大学院都市イノベーション研究院	22	7	20	7	1	0	3	0	1	1	0	47	15	62	0	0	0	0	47	15	62	
理工学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	21	46	21	67	
先端科学高等研究院	3	0	4	0	0	0	10	2	0	0	0	17	2	19	0	0	1	0	18	2	20	
ダイバーシティ戦略推進本部	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2	1	3	4	3
研究推進機構	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	4	3	7	0	0	4	0	8	3	11	
情報戦略推進機構	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	3	1	4	
国際戦略推進機構	6	5	2	4	0	1	0	2	0	0	0	8	12	20	0	0	1	2	9	14	23	
地域連携推進機構	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0
地域連携推進機構 地域実践教育研究センター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0
安全衛生推進機構	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	2	3	3	6	1
高大接続・全学教育推進センター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0
大学院教育強化推進センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0
大学戦略情報分析室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
合計	240	42	158	40	9	10	28	7	9	2	3	11	447	112	559	79	45	188	116	714	273	987

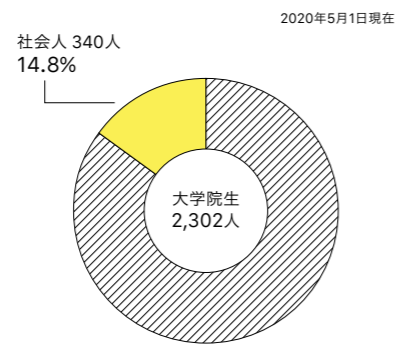
注：()内は特任教員、特任職員、代替教職員の内数です。

学生数

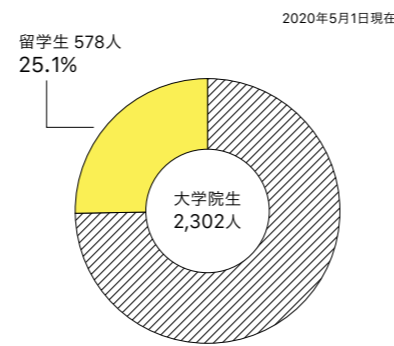
学部生・大学院生構成比



大学院生の社会人割合



大学院生の留学生割合



学部

2020年5月1日現在

区分	入学定員	編入入学定員		収容定員	現員				
		2年次	3年次		男	女	合計		
教育学部	学校教育課程	230	—	—	920	413 (0)	538 (0)	951 (0)	
	小計	230	—	—	920	413 (0)	538 (0)	951 (0)	
教育人間科学部*	学校教育課程	—	—	—	—	22 (0)	12 (0)	34 (0)	
	人間文化課程	—	—	—	—	31 (7)	14 (3)	45 (10)	
	小計	—	—	—	—	53 (7)	26 (3)	79 (10)	
経済学部	経済学科	238	—	15	982	812 (14)	228 (3)	1,040 (17)	
	経済システム学科*	—	—	—	—	35 (1)	5 (0)	40 (1)	
	国際経済学科*	—	—	—	—	29 (3)	7 (1)	36 (4)	
	小計	238	—	15	982	876 (18)	240 (4)	1,116 (22)	
経営学部	経営学科	287	—	—	1,148	772 (12)	411 (14)	1,183 (26)	
	昼間主コース	経営学科*	—	—	—	—	15 (0)	2 (0)	17 (0)
		会計・情報学科*	—	—	—	—	13 (1)	1 (0)	14 (1)
		経営システム学科*	—	—	—	—	18 (1)	2 (0)	20 (1)
		国際経営学科*	—	—	—	—	18 (1)	3 (0)	21 (1)
	夜間主コース	経営学科*	—	—	—	—	12 (0)	4 (0)	16 (0)
	小計	287	—	—	1,148	848 (15)	423 (14)	1,271 (29)	
理工学部	機械・材料・海洋系学科	185	—	—	740	677 (21)	82 (5)	759 (26)	
	化学・生命系学科	187	—	—	748	549 (4)	235 (6)	784 (10)	
	数物・電子情報系学科	287	—	—	1,148	1,159 (24)	112 (4)	1,271 (28)	
	機械工学・材料系学科*	—	—	—	—	36 (2)	4 (0)	40 (2)	
	建築都市・環境系学科*	—	—	—	—	17 (2)	9 (1)	26 (3)	
	小計	659	—	—	2,636	2,438 (53)	442 (16)	2,880 (69)	
都市科学部	都市社会共生学科	74	—	—	296	121 (13)	159 (17)	280 (30)	
	建築学科	70	2	—	286	186 (8)	98 (4)	284 (12)	
	都市基盤学科	48	—	5	202	155 (16)	53 (13)	208 (29)	
	環境リスク共生学科	56	—	—	224	147 (3)	82 (16)	229 (19)	
	小計	248	2	5	1,008	609 (40)	392 (50)	1,001 (90)	
合計	1,662	2	20	6,694	5,237 (133)	2,061 (87)	7,298 (220)		

注1: 現員()内の数字は、留学生の内数です。

注2: ※印のある学部・学科は、在学する者が当該学部・学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとします。

大学院

2020年5月1日現在

区分	入学定員	収容定員	現員			
			男	女	合計	
教育学研究科	課程士	85	170	88 (10)	103 (29)	191 (39)
	小計	85	170	88 (10)	103 (29)	191 (39)
	専門職学位課程 高度教職実践専攻	15	30	15 (0)	6 (0)	21 (0)

大学院

2020年5月1日現在

区分	入学定員	収容定員	現員				
			男	女	合計		
国際社会科学府	博士課程前期	経済学専攻	38	76	45 (43)	45 (45)	90 (88)
		経営学専攻 ^{*1}	50	100	49 (17)	53 (43)	102 (60)
		国際経済法学専攻	25	50	15 (10)	39 (34)	54 (44)
		小計	113	226	109 (70)	137 (122)	246 (192)
		博士課程後期	経済学専攻	10	30	16 (12)	10 (8)
	経営学専攻	12	36	31 (10)	12 (8)	43 (18)	
	国際経済法学専攻	8	24	16 (9)	13 (10)	29 (19)	
	小計	30	90	63 (31)	35 (26)	98 (57)	
	専門職学位課程 法曹実務専攻 ^{*2}	—	25	8 (0)	6 (0)	14 (0)	
	国際社会科学研究所 ^{*2}	博士課程	企業システム専攻	—	—	2 (0)	0 (0)
国際経済法学専攻			—	—	0 (0)	1 (0)	1 (0)
小計			0	0	2 (0)	1 (0)	3 (0)
理工学府	博士課程前期	機械・材料・海洋系工学専攻	109	218	208 (17)	18 (2)	226 (19)
		化学・生命系理工学専攻	107	214	149 (4)	62 (4)	211 (8)
		数物・電子情報系理工学専攻	146	292	273 (14)	30 (3)	303 (17)
		小計	362	724	630 (35)	110 (9)	740 (44)
	博士課程後期	機械・材料・海洋系工学専攻	11	33	30 (12)	3 (2)	33 (14)
		化学・生命系理工学専攻	12	36	20 (5)	6 (5)	26 (10)
		数物・電子情報系理工学専攻	18	54	59 (21)	6 (4)	65 (25)
小計	41	123	109 (38)	15 (11)	124 (49)		
工学府 ^{*2}	博士課程前期	システム統合工学専攻	—	—	1 (1)	0 (0)	1 (1)
		物理情報工学専攻	—	—	1 (0)	1 (0)	2 (0)
		小計	0	0	2 (1)	1 (0)	3 (1)
	博士課程後期	機能発現工学専攻	—	—	11 (0)	1 (0)	12 (0)
		システム統合工学専攻	—	—	8 (1)	0 (0)	8 (1)
物理情報工学専攻	—	—	13 (2)	3 (2)	16 (4)		
小計	0	0	32 (3)	4 (2)	36 (5)		
環境情報学府	博士課程前期	人工環境専攻	75	150	102 (12)	41 (18)	143 (30)
		自然環境専攻	33	66	34 (2)	27 (5)	61 (7)
		情報環境専攻	65	130	106 (13)	17 (2)	123 (15)
		情報メディア環境学専攻 ^{*2}	—	—	3 (0)	1 (0)	4 (0)
		環境イノベーションマネジメント専攻 ^{*2}	—	—	1 (0)	0 (0)	1 (0)
		環境リスクマネジメント専攻 ^{*2}	—	—	0 (0)	1 (0)	1 (0)
		小計	173	346	246 (27)	87 (25)	333 (52)
	博士課程後期	人工環境専攻	15	45	17 (1)	9 (2)	26 (3)
		自然環境専攻	6	18	17 (1)	5 (1)	22 (2)
		情報環境専攻	12	36	28 (3)	1 (0)	29 (3)
		環境生命学専攻 ^{*2}	—	—	8 (2)	4 (0)	12 (2)
		環境システム学専攻 ^{*2}	—	—	9 (0)	1 (0)	10 (0)
		情報メディア環境学専攻 ^{*2}	—	—	16 (2)	2 (0)	18 (2)
		環境イノベーションマネジメント専攻 ^{*2}	—	—	14 (2)	4 (1)	18 (3)
環境リスクマネジメント専攻 ^{*2}	—	—	9 (2)	1 (0)	10 (2)		
小計	33	99	118 (13)	27 (4)	145 (17)		
都市イノベーション学府	博士課程前期	建築都市文化専攻	68	136	100 (9)	53 (9)	153 (18)
		都市地域社会専攻	37	74	68 (31)	48 (27)	116 (58)
		小計	105	210	168 (40)	101 (36)	269 (76)
	博士課程後期	都市イノベーション専攻	12	36	52 (32)	27 (14)	79 (46)
小計	12	36	52 (32)	27 (14)	79 (46)		
小計	修士課程・博士課程前期	838	1,676	1,243 (183)	539 (221)	1,782 (404)	
	博士課程後期	116	348	376 (117)	109 (57)	485 (174)	
	専門職学位課程	15	55	23 (0)	12 (0)	35 (0)	
合計	969	2,079	1,642 (300)	660 (278)	2,302 (578)		

注1: 現員()内の数字は、留学生の内数です。

注2: ※1印のある専攻は、社会人専修コース(ビジネススクール)の学生数を含んでいます。

注3: ※2印のある研究科・学府・専攻は、在学する者が当該研究科・学府・専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとします。

学生数

教育学部臨時教員養成課程

2020年5月1日現在

入学定員	現 員		
	男	女	合 計
60	2	18	20

研究生・科目等履修生・聴講生

2020年5月1日現在

区 分		研究生	科目等履修生	聴講生	合 計
学 部	教育学部	3 (1)	1 (0)	—	4 (1)
	経済学部	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	経営学部	7 (7)	1 (0)	—	8 (7)
	理工学部	18 (16)	2 (0)	—	20 (16)
	都市科学部	5 (5)	0 (0)	—	5 (5)
大学院	教育学研究科	9 (6)	0 (0)	—	9 (6)
	国際社会科学府	15 (15)	2 (0)	0 (0)	17 (15)
	理工学府	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
	環境情報学府	4 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (3)
	都市イノベーション学府	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合 計	65 (57)	7 (0)	1 (0)	73 (57)	

注:()内の数字は、留学生の内数です。

附属学校児童・生徒数

2020年5月1日現在

区 分		入学定員	総定員	現 員
附属鎌倉小学校		105	630	625
附属鎌倉中学校	一 般	140	440	437
	帰国子女	15	45	20
附属横浜小学校	一 般	105	630	623
	帰国子女(4～6年生)	15	45	13
附属横浜中学校	一 般	105	330	329
	帰国子女	15	45	45
附属特別支援学校	小学部	6 [※]	18	18
	中学部	6	18	20
	高等部	8	24	29
合 計	520	2,225	2,159	

注:※印は、複式学級です。

入学者の状況

学 部

2020年5月1日現在

区 分	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	230	865	3.7	781	254	244 (0)
経済学部	238	1,712	7.1	983	314	253 (0)
経営学部	287	1,394	4.8	820	376	297 (2)
理工学部	659	3,550	5.3	2,245	783	677 (8)
都市科学部	248	1,306	5.2	875	288	236 (2)
合 計	1,662	8,827	5.3	5,704	2,015	1,707 (12)

注1:入学者数()内の数字は、国費・政府派遣による留学生数で外数です。

注2:志願倍率 = 志願者数 / 入学定員 (小数第二位切り捨て)

注3:10月入学は含まない。

出身高校所在地別の入学者数

2020年5月1日現在

区 分		入学者数	全体に占める割合	区 分		入学者数	全体に占める割合
関 東	神奈川県	493	28.6%	西日本	近 畿	135	7.8%
	東京都	317	18.4%		中 国	51	2.9%
	上記以外	209	12.1%		四 国	34	1.9%
東日本	北海道	29	1.6%	九 州	86	5.0%	
	東 北	56	3.2%	その他	13	0.7%	
	北 陸	37	2.1%	留学生	37	2.1%	
	中 部	222	12.9%	合 計	1,719	100.0%	

注1:その他には、日本国籍を有する者で外国の学校を卒業又は修了した者ならびに文部科学大臣が指定した在外教育施設を修了した者等を含んでいます。

注2:全体に占める割合は、小数第二位切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

大学院

2020年5月1日現在

区 分	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
教育学研究科	修士課程	85	198	2.3	188	83 (16)
	専門職学位課程	15	31	2.0	29	17 (0)
国際社会科学府	博士課程前期	113	476	4.2	417	146 (85)
	博士課程後期	30	17	0.5	16	11 (4)
理工学府	博士課程前期	362	498	1.3	477	363 (13)
	博士課程後期	41	39	0.9	39	37 (13)
環境情報学府	博士課程前期	173	191	1.1	178	149 (18)
	博士課程後期	33	21	0.6	21	20 (2)
都市イノベーション学府	博士課程前期	105	241	2.2	215	110 (21)
	博士課程後期	12	9	0.7	7	7 (2)
小 計	修士課程・博士課程前期	838	1,604	1.9	1,475	801 (153)
	博士課程後期	116	86	0.7	83	75 (21)
	専門職学位課程	15	31	2.0	29	17 (0)
合 計	969	1,721	1.7	1,587	1,024 (174)	

注1:入学者数()内の数字は、留学生の内数です。

注2:志願倍率 = 志願者数 / 入学定員 (小数第二位切り捨て)

注3:10月入学は含まない。

卒業生・修了者の状況

学部

2019年度

区分	卒業生数	卒業後の進路					
		進学	就職				その他
			民間企業	教員	公務員	小計	
教育人間科学部	390	40	184	105	17	306	44
経済学部	245	13	194	0	11	205	27
経営学部	昼間主コース	284	6	244	0	14	20
	夜間主コース	28	1	21	0	1	5
理工学部	743	542	150	2	10	162	39
合計	1,690	602	793	107	53	953	135

大学院

2019年度

区分	修了者数	修了後の進路						
		進学	就職				その他	
			民間企業	教員	公務員	小計		
教育学研究科	修士課程	94	6	22	44	0	66	22
	専門職学位課程	15	0	0	15	0	15	0
国際社会科学研究所	博士課程後期 ^{※1}	3	0	0	0	1	1	2
国際社会科学府	博士課程前期	112	12	48	2	8	58	42
	博士課程後期 ^{※2}	8	0	1	3	0	4	4
	専門職学位課程	10	0	0	0	0	0	10
工学府	博士課程前期	6	1	5	0	0	5	0
	博士課程後期 ^{※3}	26	0	13	1	0	14	12
理工工学府	博士課程前期	354	16	328	4	5	337	1
	博士課程後期	2	0	0	0	0	0	2
環境情報学府	博士課程前期	169	14	122	1	5	128	27
	博士課程後期 ^{※4}	33	0	17	3	0	20	13
都市イノベーション学府	博士課程前期	114	9	77	1	12	90	15
	博士課程後期	11	0	5	2	0	7	4
合計	修士課程・博士課程前期	849	58	602	52	30	684	107
	博士課程後期	83	0	36	9	1	46	37
	専門職学位課程	25	0	0	15	0	15	10

※1 満期退学者3名を含む ※2 満期退学者1名を含む ※3 満期退学者2名を含む ※4 満期退学者9名を含む

卒業生累計数

2020年3月31日現在

区分	卒業生数	
教育人間科学部	29,895	
経済学部	第一部	14,363
	第二部	180
経営学部	第一部・昼間主コース	11,907
	第二部・夜間主コース	2,449
理工学部	36,530	
合計	95,324	

注1: 教育人間科学部の卒業生数は、学芸学部・教育学部(2年課程・4年課程)の卒業生を含んでいます。
 注2: 経済学部第二部、経営学部第二部・夜間主コースは、学生募集を停止しています。
 注3: 理工学部の卒業生数は、工学部(4年課程・5年課程)の卒業生を含んでいます。
 注4: 国際社会科学研究所(博士課程前期)の修了者数は、経済学研究科・経営学研究科・国際経済法研究科の修了者を含んでいます。
 注5: 国際社会科学研究所(博士課程後期)の修了者数は、国際開発研究科の修了者を含んでいます。
 注6: 工学府(博士課程前期・後期)の修了者数は、工学研究科の修了者を含んでいます。

修了者累計数

2020年3月31日現在

区分	修了者数		
	修士課程 博士課程前期	博士課程後期	専門職学位課程
教育学研究科	3,951	—	41
国際社会科学研究所	3,164	338	386
国際社会科学府	678	44	61
工学府	13,590	1,211	—
理工工学府	354	2	—
環境情報学府	3,303	485	—
都市イノベーション学府	838	69	—
合計	25,878	2,149	488

学位授与者数

修士

2019年度

研究科・学府	区分	授与者数
教育学研究科	修士(教育学)	94
	修士(経済学)	39
国際社会科学府	修士(経営学)	52
	修士(法学)	14
工学府	修士(国際経済法学)	7
	修士(工学)	6
理工工学府	修士(工学)	280
	修士(理学)	74
環境情報学府	修士(工学)	58
	修士(理学)	25
	修士(環境学)	23
	修士(情報学)	44
	修士(技術経営)	4
	修士(学術)	15
都市イノベーション学府	修士(工学)	105
	修士(学術)	9
合計		849

博士

2019年度

研究科・学府	区分	課程修了	論文提出	合計
国際社会科学府	博士(経済学)	3	0	3
	博士(経営学)	4	0	4
工学府	博士(工学)	23	0	23
	博士(学術)	1	0	1
理工工学府	博士(工学)	1	5	6
	博士(理学)	1	0	1
環境情報学府	博士(工学)	10	1	11
	博士(環境学)	4	0	4
	博士(情報学)	5	0	5
	博士(学術)	5	0	5
	博士(工学)	11	4	15
都市イノベーション学府	博士(工学)	0	1	1
	博士(学術)	0	1	1
合計		68	11	79

博士累計

2019年度

区分	課程博士	論文博士	合計
博士(学術)	275	30	305
博士(経済学)	133	10	143
博士(経営学)	104	6	110
博士(国際経済法学)	41	5	46
博士(法学)	4	0	4
博士(工学)	1,453	377	1,830
博士(理学)	1	0	1
博士(環境学)	109	26	135
博士(情報学)	22	0	22
博士(技術経営)	7	1	8
合計	2,149	455	2,604

授業料免除・奨学金

授業料免除の状況

2019年度

区分	全額免除者	半額免除者	合計
学部	657	208	865
大学院	修士課程・博士課程前期	133	392
	博士課程後期	26	109
合計	999	367	1,366

注: 春学期・秋学期の延べ人数で、留学生は含んでいません。

学外奨学金の状況

2019年度

区分	日本学生支援機構				地方公共団体	民間団体	合計	
	第一種	第二種	併用	小計				
学部	558	512	124	1,194	12	115	1,321	
大学院	修士課程・博士課程前期	478	11	15	504	0	39	543
	博士課程後期	26	0	0	26	0	7	33
	専門職学位課程	5	0	6	11	0	0	11
合計	1,067	523	145	1,735	12	161	1,908	

注: 留学生は含みません。

学内奨学金、その他の学生支援事業

2020年5月1日現在

奨学金・事業名	実施部局
国際学術交流奨励事業(私費外国人留学生奨学金、交換留学派遣生奨学金、国際会議等出席・海外調査等奨学金)	全学
Y60奨学金(ショートビジット奨学金、YOKOHAMAクリエイティブ・スタディーズ特別プログラム奨学金)	
横浜国立大学交換留学(派遣・受入れ)奨学金	
YNU大澤奨学金	
YNU竹井准子記念奨学金	
新入生スタートアップ支援金	
横浜国際社会科学学会会員院生を対象とした学会発表等助成	大学院国際社会科学府
大学院国際社会科学府法曹実務専攻富丘会奨学金	
公益財団法人横浜工業会奨学金	
公益財団法人横浜工業会奨学金(海外インターンシップ派遣)	大学院理工学府、大学院環境情報学府、大学院都市イノベーション学府
公益財団法人東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団奨学金	
公益財団法人大塚敏英育英奨学財団奨学金	大学院理工学府
大学院理工学府等奨学生制度	
大学院理工学府特別研究員/特待生制度	
大学院環境情報学府国際学会等における発表等支援事業	
大学院環境情報学府女性院生研究支援奨学金	大学院環境情報学府
大学院環境情報研究院共同研究プロジェクト 課題C	大学院環境情報研究院

教育研究プロジェクト

文部科学省等の重点プロジェクトとして採択された取組み

プロジェクト名	代表者又は研究代表者	取組期間	
生態系保全による緩和策と適応策の統合	松田裕之 大学院環境情報研究院 教授	2017～2019年度	
2050年の社会像を見据えた再生可能エネルギー利用拡大への道筋	本藤祐樹 大学院環境情報研究院 教授	2018～2020年度	
環境研究総合推進費			
土壌・地下水中のクロロエチレン等の分解・吸脱着等挙動解析と汚染状況評価技術の開発	小林 剛 大学院環境情報研究院 准教授	2017～2019年度	
生態系保全による緩和策と適応策の統合	森 章 大学院環境情報研究院 准教授	2017～2019年度	
PRTR制度における排出源管理及び環境改善把握の支援ツールの開発	亀屋隆志 大学院環境情報研究院 教授	2019～2020年度	
災害・事故に起因する化学物質流出シナリオ構築と防災減災戦略	三宅淳巳 先端科学高等研究院 教授	2019～2020年度	
戦略的創造研究推進事業 (ACCEL)			
スローライト構造体を利用した非機械式ハイレゾ光レーダーの開発	馬場俊彦 大学院工学研究院 教授	2016～2020年度	
CPBトライボロジー特性評価と材料設計	中野 健 大学院環境情報研究院 教授	2015～2019年度	
研究成果展開事業 研究成果最適化支援プログラム (A-STEP)	セラミックスプロセスチェーン最適化を目指した構造形成過程のリアルタイム3次元OCT観察法による理解とその制御因子の科学的解明	多々見純一 大学院環境情報研究院 教授	2017～2020年度
研究成果展開事業 (COI)			
共進化社会システム創成拠点:ヒト/モノ/エネルギー/情報のモビリティによる多様で持続的な社会の構築	中村文彦 大学院都市イノベーション研究院 教授	2013～2020年度	
精神的価値が成長する感性イノベーション拠点	長尾智晴 大学院環境情報研究院 教授	2013～2020年度	
研究成果展開事業 (START)			
長距離量子通信システム	堀切智之 大学院工学研究院 准教授	2019年度	
戦略的創造研究推進事業 (先端的低炭素化技術開発 (ALCA))			
リチウムイオン液体の特性最適化と高容量硫黄正極の創製	渡邊正義 先端科学高等研究院 特任教授	2012～2020年度	
長繊維強化自己治癒セラミックスの開発および評価	中尾 航 大学院工学研究院 教授	2012～2019年度	
Li-S電池用新規電解質系の提案・データ提供	獨古 薫 大学院工学研究院 教授	2018～2020年度	
戦略的創造研究推進事業 (CREST)			
ダイヤモンド素子評価	小坂英男 大学院工学研究院 教授	2017～2020年度	
固体高分子電解質電解技術に基づく革新的反応プロセスの構築	跡部真人 大学院工学研究院 教授	2018～2020年度	
光駆動ドロプレット・プリンティングの開発と応用	丸尾昭二 大学院工学研究院 教授	2019～2020年度	
戦略的創造研究推進事業 (さきがけ)			
量子ネットワーク構成技術とその応用研究	堀切智之 大学院工学研究院 准教授	2017～2020年度	
反応性量子ビームによる細胞内生命現象の可視化	藤井麻樹子 大学院環境情報研究院 講師	2017～2020年度	
希土類添加蛍光体を用いた生体深部細胞の3次元マルチカラー光操作法	古川太一 大学院工学研究院 助教	2018～2020年度	
量子トポロジカル磁性体のもつ素励起の時空間的制御	那須譲治 大学院工学研究院 准教授	2019～2020年度	
未来社会創造事業			
超スマート都市 エリアマネジメントプラットフォームの構築・活用	佐土原聡 大学院都市イノベーション研究院 教授	2018～2019年度	
消防防災科学技術研究推進制度			
消防活動時の心肺負荷状態推定手法の高度化とプロトタイプ計測器の開発	岡 泰資 大学院環境情報研究院 教授	2019年度	

YNU独自の取組み

副専攻プログラム

プログラム名	実施部局	修了者数	プログラム名	実施部局	修了者数
中核的理科教員養成プログラム	教育学部	3	YNU地域交流科目人材育成教育プログラム		24
Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP)	経済学部、経営学部	0	地域創造科目	地域実践教育研究センター	5
ビジネス・プラクティス・プログラム	経営学部	0	統合的海洋管理プログラム	大学院教育強化推進センター	9
理工学部副専攻プログラム (水素エネルギー学)	理工学部	0	実践企業成長教育プログラム	成長戦略教育研究センター、国際社会科学府	0
理工学部副専攻プログラム (材料科学)		1	経済・工学金融教育プログラム	成長戦略教育研究センター	0
理工学部副専攻プログラム (医工学)		1	起業家人材養成教育プログラム		4
理工学部副専攻プログラム (ロボティクスメカトロニクス学)		3	グローバルPlusONE副専攻プログラム	国際戦略推進機構	10
理工学部副専攻プログラム (環境・安全学)		0	グローバル スタディーズ副専攻プログラム		0
Y-GSA副専攻プログラム	都市イノベーション学府	13	CAREERS IN JAPAN 留学生キャリア開発促進副専攻プログラム		0
安心安全マネジメント	リスク共生社会創造センター	0			

注:修了者数は2019年度実績。

企業・教育研究機関との連携講座等

2020年5月1日現在

実施部局等	分野	連携先	
教育学部	学校教育課程	産業・情報技術等指導者養成研修 (中学校: 家庭)	独立行政法人教員研修センター
		アドバイザリースタッフ派遣	神奈川県内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等
		特別支援教育	独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
		神奈川ICSTプラン	神奈川県立青少年センター、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会
		第24回「震災対策技術展」横浜	エグジビジョンテクノロジーズ株式会社
経済学部	経済学科	出雲科学館雲のふしぎ展	出雲市教育委員会
		資本市場	野村證券株式会社
		国際金融	コンコードインターナショナル インベストメンツ グループ
		財政	財務省関東財務局横浜財務事務所
経営学部	経営学科	貿易	財務省関税局・横浜税関
		経営学	一般社団法人日本物流団体連合会
		ファイナンス	株式会社横浜銀行
		経営学	NPO法人THE F・U・N、アクセシビリティ株式会社
教育学研究科	教職大学院 (高度教職実践専攻)	マーケティング	株式会社横浜DeNAベイスターズ
		アカウンティング	東京地方税理士会
		全県指導主事講習、長期研究員講習、非常勤講師等研修会、教職キャリア開発・実践講座	神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会
		機能の創生部門	応用材料工学
工学研究院	システムの創生部門	応用材料設計工学	国立研究開発法人物質・材料研究機構
		統合設計工学	株式会社東芝電力社会システム社、電力・社会システム技術開発センター
		マリタイムフロンティアサイエンス	国立研究開発法人海上技術安全研究所
		ネットワークインフラストラクチャー工学	国立研究開発法人情報通信研究機構
		知的構造の創生部門	ライフサイエンス
環境情報研究院	自然環境と情報部門	タツノ流体燃料共同研究講座	株式会社タツノ
		パワーエレクトロニクス寄附研究部門	株式会社京三製作所
		生命適応システム学	慶応義塾大学医学部及び医学研究科、国立研究開発法人海洋研究開発機構
		実践環境安全学	国立研究開発法人国立環境研究所、総務省消防庁消防大学校消防研究センター
都市イノベーション研究院	都市イノベーション部門	環境社会工学	株式会社三菱総合研究所、株式会社NTTデータ経営研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所
		都市マネジメント	横浜市温暖化対策統括本部
		神奈川の未来 (自治体政策)	神奈川県政策局政策部総合政策課
成長戦略教育研究センター		神奈川県の取り組み技術課題	富士ゼロックス株式会社、南足柄市
		実践 地域と起業	

附属図書館の状況

所蔵資料の状況

2020年3月31日現在

蔵書冊数	雑誌受入タイトル数
1,331,422	6,706

電子資料の状況

2020年3月31日現在

電子ブック	電子ジャーナル [※]
68,472	5,579 [※]

注:※印は電子ジャーナル契約分。アグリゲータ系除く。

学術情報リポジトリ

学術情報リポジトリは、本学の教育研究活動において生産された学術情報を、インターネット上に無料で公開することで大学の説明責任と社会貢献を果すことを目的としています。

区 分	登録数	アクセス件数
雑誌論文	7,753	1,250,112
博士論文	955	
科学研究費補助金研究成果報告書	199	
その他	1,373	
合 計	10,280	

登録件数は2020年3月31日現在。アクセス数は2019年度。

社会連携

産学連携等に関する包括協定締結機関

2020年5月1日現在

機関名	締結年月日
株式会社IHI	2004年4月1日
国立研究開発法人情報通信研究機構	2004年4月1日
株式会社小松製作所	2004年9月1日
日本発条株式会社	2004年9月1日
国立研究開発法人国立環境研究所	2005年3月15日
横浜市、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会	2005年4月1日
株式会社三菱UFJ銀行	2005年5月9日
株式会社国際協力銀行	2005年6月17日
日産自動車株式会社	2006年2月14日
国立研究開発法人港湾空港技術研究所	2006年7月1日
横浜商工会議所	2006年9月22日
国立研究開発法人海上技術安全研究所	2007年1月26日
公益財団法人地球環境戦略研究機関	2007年3月19日
高圧ガス保安協会	2007年10月18日
株式会社国際電気通信基礎技術研究所	2008年3月4日
一般社団法人海洋産業研究会	2008年5月15日
独立行政法人製品評価技術基盤機構	2009年12月15日
国立研究開発法人海洋研究開発機構	2010年1月27日
独立行政法人国際協力機構	2010年4月1日
国立研究開発法人水産研究・教育機構	2011年8月9日
横浜市保土ヶ谷区	2013年2月19日
横浜市	2013年6月5日
相模原市	2015年8月4日
東日本高速道路株式会社関東支社	2015年12月24日
首都高速道路株式会社	2015年12月25日

利用状況

2019年度

区 分	入館者数	貸出冊数
学生、教職員	555,558	65,173
卒業生、名誉教授、学外の方等	4,821	3,613
合 計	560,379	68,786

学外機関との相互協力

県内の公共図書館や内外の大学図書館との協力によって資料の相互提供を行っています。

区 分	図書貸借冊数	文献複写件数
学外機関への文献提供	1,014	1,174
学外機関からの文献取寄せ	403	755

2019年度

神奈川県図書館情報ネットワークシステム(KL-NET)

県内公共図書館の蔵書を一括して検索したり、自館に所蔵していない資料を貸借依頼することができるシステムです。本学もKL-NETに参加しているため、県内他館から無料で本を取り寄せることができ、また本学蔵書も県内公共図書館へ無料で提供しています。

他館への貸出冊数	他館からの借入冊数
356	241

2019年度

社会連携

教職員の審議会委員等従事状況

2019年度

区 分	従事件数	
地方公共団体	神奈川県	78
	横浜市	65
	川崎市	22
	その他(神奈川県内)	40
	その他(神奈川県外)	89
中央省庁	文部科学省	52
	国土交通省	45
	経済産業省	37

区 分	従事件数	
中央省庁	内閣府	21
	総務省	21
	厚生労働省	16
	環境省	15
	その他	39
独立行政法人等	313	
合 計	853	

公開講座の実施状況

2019年度

講座名	講座区分	主催部局等	参加人数
私たちの生活とSDGs(持続可能な開発目標)	高校生	公開講座委員会	556
英語における機能語の動きー冠詞と前置詞の場合ー		17	
外国につながる子どもに教えられる教師になろうー自分が教わったことがないことが教えられるかー		17	
歩いて知ろう鎌倉の歴史と地理		25	
イタリア音楽紀行ーイタリアの民俗楽器の世界ー		135	
着物の着装を通じて学ぶきもの文化	地域社会(一般)		11
歩いて見に行こう神奈川の歴史と地理(6)金沢八景		25	
経済学の「内」と「外」	現役世代社会人	経済学部	117
平成30年の企業経営と金融を振り返る		経営学部	88
第13回 海洋空間のシステムデザインカップ ひれ推進コンテスト	高校生	理工学部	137
都市の自然を楽しむライフスタイル	中学・高校生	都市科学部	5
都市科学入門ー都市科学部4学科の講義を体験するー			111
水道施設維持管理のための腐食防食基礎講座ー実習を中心とした体験型講座ー	現役世代社会人	工学研究院	35
事務系・非技術系社会人のための腐食防食基礎講座ーより理解が深める体験型講座ー			3
土の中の気持ちわるい生き物観察会(夏)	高校生	環境情報研究院	10
リスクと生きる:環境リスク学入門	現役世代社会人		40
横浜防火帯建築を読み解く	地域社会(一般)		49
モビリティデザインサマースクール	現役世代社会人	都市イノベーション研究院	13
持続可能な都市を支えるモビリティ			740
日本語教育と国際交流ー留学生との対話を通じてー	高校生	国際戦略推進機構	8
羽沢横浜国大駅開業を契機とした地域と大学のさらなる連携強化	地域社会(一般)	地域連携推進機構	138
初心者のためのプログラミング体験入門ーProcessingによるグラフィカルなプログラム作成ー	高校生	情報基盤センター	25
高校生のための分析入門講座「テクノワールド2019」ー最先端の分析機器を体験しようー			15
バイオテクノロジー-実験講座 先端バイオテクノロジーを理解するー遺伝子工学と細胞工学ー	現役世代社会人	機器分析評価センター	5
材料解析の基礎講座			4
実践機器分析基礎講座(A)「成分分析の実際」ー「分ける」「見つける」「調べる」を一度に実現! LC/MS(液体クロマトグラフィー-質量分析)ー			5
YNU理系女子★サイエンスプログラム2ー先輩に聞いてみよう!進路と研究ー	中学・高校生	男女共同参画推進センター	26
合 計			2,360

社会連携

サイエンスカフェ

コーヒーやお菓子を楽しむ和やかな雰囲気の中、大学で行っている最先端の研究をわかりやすく紹介します。参加者と講師が気軽に意見交換し、より理解を深め楽しんでもらえるようにファシリテーターの学生が活躍しています。

プログラム名	参加人数
生物から学ぶ最適化	29 (9)
人間のことばにおける推論	20 (6)
本当は面白い江戸時代の古文書	24 (1)
中小企業の連携が生み出す日本のものづくり	23 (1)
宇宙最古の光を追え！CMBチャンネルで迫る宇宙誕生の瞬間	22 (6)

注：参加人数（ ）内の数字は高校生以下の内数です。

2019年度

地域交流科目「地域課題実習」

科目名	実施部局	連携先	参加者数
横浜うみみらいプロジェクト	地域実践教育研究センター	UDC-sea	10
みなとまちプロジェクト		常葉大学、東京大学、九州大学、茨城大学、静岡理科大学、静岡市経済局海洋文化都市推進本部、静岡県清水港管理局、株式会社 鈴与、株式会社 ボクラノマチ、ヤマハ発動機株式会社、静岡県立大学 岸昭雄 研究室	13
おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト		一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター、一般社団法人大田観光協会	10
YNU x TOYOTA/NISSAN プロジェクト		日産自動車株式会社	13
モビリティ・デザインの実践		社会実験ユニットsouple、NPO 法人365プランノイチ、お茶の水女子大学 小崎 美希 助教、東京都市大学都市生活学部 中島伸 専任講師	24
ハマの屋台プロジェクト		常盤台地区連合町内会、ゆたかなイばしょ運営委員会、レモネードスタンド普及協会	12
まちに開いた交流の場のデザイン		CASACO (カサコ)	30
シェアハウスのデザイン			3
和田ペンプロジェクト		和田町タウンマネジメント協議会、和田町商店街、和田西部町内会、盛光堂、ひまわり亭、アジアキッチンあえら、大学生協	10
ワダヨコプロジェクト		和田町タウンマネジメント協議会	27
ニュー・ニュータウン プロジェクト		オンデザインパートナーズ、みなまきラボ運営委員会、万騎が原中央商店街、相鉄ホールディングス、横浜市、万騎が原小学校	9
市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクト		NPO法人アクションポート横浜	7
ローカルなマテリアルのデザイン			11
アグリッジプロジェクト		藤巻芳明氏、藤又琢氏、保土ヶ谷区役所生活衛生課、ヘルスメイト、常盤台コミュニティハウス、常盤台地区連合町内会、大倉山ミエル、ハマノワ、フェリス女学院大学、東京ストロベリーパーク、横浜ビール、濱漬・上岡食品、川久保和美氏	12
都市の自然を楽しむライフスタイル			13
かながわ里山探検隊	七沢里山づくりの会	20	
データで捉える地域課題・地域経済	横浜市政政局 関口昌幸氏、岡崎洋子氏	37	
横国ネパールプロジェクト (YNP)		10	

2019年度

高大連携事業

事業名	実施部局	対象者又は連携先	参加人数
第9回 iハーベスト発表会	全学	神奈川県立光陵高等学校	1,224
神奈川県立光陵高等学校大学教養講座			318
サイエンスリテラシー I	教育学部	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	240
サイエンスリテラシー II			32
サタデーサイエンス			20
スーパーサイエンスセミナー		神奈川県立厚木高等学校	17
高校模擬講義		神奈川県立6高等学校、東京都1高等学校生徒・教諭	320
高校生のための教職セミナー		神奈川県内高等学校生徒	138
かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア	理工学部	神奈川県内中学・高等学校生徒・一般市民	約2,000
横高アカデミア		神奈川県立横須賀高等学校	35
高校来学・出張模擬講義		高等学校生徒・教諭	392
高校出張説明会・模擬授業	都市科学部	高等学校生徒・教諭	350
高校生授業等体験プログラム	高大接続・全学教育推進センター 高大接続部門	神奈川県内高等学校	81
来訪高校生対応		高等学校生徒・保護者・教諭	2,010
高校出張説明会・模擬授業			2,759

2019年度

地域社会と連携した小中学生向け事業

事業名	実施部局	対象者又は連携先	参加人数
がやっこ探検隊 (全7回)	教育学部	提携先：保土ヶ谷区 対象者：保土ヶ谷区在住・在学の小学生	882
がやっこ科学教室 (全6回)		保土ヶ谷区	165
わくわくサタデー (全4回)		横浜市立桜岡小、和泉小、峯小、仏向小	1,028
「学校ピンポイント天気予報」配信システム		神奈川県教委、横浜市教委、川崎市教委、相模原市教委	—
ワダヨコプロジェクト	地域実践教育研究センター	和田町タウンマネジメント協議会	27
ニュー・ニュータウンプロジェクト		万騎が原小学校	9
図書館研修	附属図書館	藤嶺学園藤沢中学校	25
ブランクトン観察会	大学院環境情報研究院	真鶴小学校 他	96
夜のブランクトン観察		真鶴小学校 他	76
海洋研究体験		真鶴町立遠藤貝類博物館	43
中区球技大会	附属横浜小学校	横浜市立大鳥小学校5年	109
中区水泳大会		横浜市中区の小学校 (立野小、山元小)	31
中区児童音楽会		横浜市中区の小学校4年 (各学校代表学年)	107
土曜学校1・2	附属鎌倉小学校	鎌倉市	120
鎌小LIVE (学習発表会)		地域の方々	50
総合的な学習の時間 (Life) 発表会	附属鎌倉中学校	地域の方々・保護者	350
科学部による近隣学校との合同ビーチコーミング		近隣小中学校児童・生徒	40
「AOKI起業家育成プロジェクト」中学生のための起業家育成スクール	成長戦略教育研究センター	横浜市在住・在校の中学生 (選抜)	10

2019年度

国際交流

国・地域別の国際交流状況

2019年度実績

国・地域名	海外派遣数		外国人受入数	
	学生 ^{※1}	教員等	学生 ^{※2}	研究者等
アイルランド	0	2	0	0
アゼルバイジャン	0	0	1	0
イギリス	31	29	44	14
イタリア	17	21	8	7
ウクライナ	0	4	0	0
ウズベキスタン	0	4	8	0
エストニア	0	0	1	0
オーストリア	11	13	0	4
オランダ	5	16	1	5
カザフスタン	0	0	1	0
キプロス	0	1	0	0
ギリシャ	4	1	0	0
キルギス	1	1	1	0
クロアチア	6	4	0	0
ジョージア	0	1	0	0
スイス	3	11	0	1
スウェーデン	4	8	0	0
スペイン	5	18	1	1
スロバキア	0	1	0	0
スロベニア	6	3	0	0
セルビア	0	7	0	0
タジキスタン	0	0	1	0
チェコ	8	15	6	3
デンマーク	6	3	1	0
ドイツ	30	39	9	6
ノルウェー	3	4	0	0
ハンガリー	0	3	3	1
フィンランド	23	10	5	5
フランス	15	40	11	11
ブルガリア	0	0	1	2
ベラルーシ	0	0	2	0

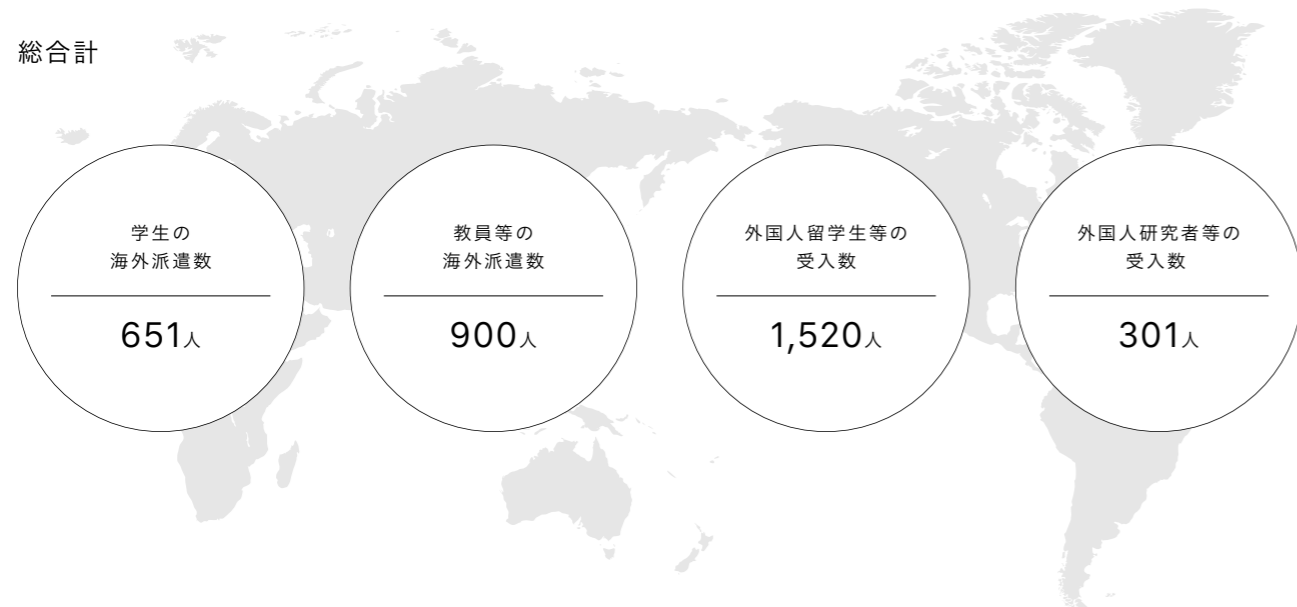
国・地域名	海外派遣数		外国人受入数	
	学生 ^{※1}	教員等	学生 ^{※2}	研究者等
ベルギー	1	7	5	1
ポーランド	5	8	0	0
ポルトガル	5	8	0	0
マルタ	0	0	1	0
ラトビア	0	1	0	0
リトアニア	1	4	0	1
ルクセンブルク	0	1	0	0
ルーマニア	0	1	1	1
ロシア	0	5	2	0
小計	190	294	114	63
ウガンダ	0	0	1	0
エジプト	1	0	8	2
エチオピア	2	0	6	1
ガーナ	0	0	4	0
カメルーン	0	0	6	0
ケニア	0	0	1	0
コートジボワール	0	0	1	0
コンゴ民主共和国	0	0	1	0
ザンビア	0	0	1	0
スーダン	0	0	0	1
セネガル	0	0	1	0
タンザニア	0	0	1	0
トーゴ	0	0	1	0
ナイジェリア	0	1	7	0
ナミビア	0	0	1	0
マダガスカル	0	0	1	0
マラウイ	0	0	4	0
南アフリカ	0	4	1	4
南スーダン	0	0	2	0
モザンビーク	0	0	1	0
モロッコ	0	0	1	0

国・地域名	海外派遣数		外国人受入数	
	学生 ^{※1}	教員等	学生 ^{※2}	研究者等
ルワンダ	0	0	1	0
その他(アフリカ地域)	0	0	1	0
小計	3	5	52	8
インド	6	14	56	21
インドネシア	4	14	21	4
韓国	37	51	144	1
カンボジア	0	1	19	4
シンガポール	12	23	0	4
スリランカ	5	1	9	0
タイ	61	29	28	4
台湾	24	38	57	13
中国	114	135	689	89
ネパール	0	4	3	0
パキスタン	0	1	17	0
バングラデシュ	4	4	20	0
フィリピン	11	9	44	6
ブータン	0	0	2	0
ベトナム	17	43	79	34
香港	4	3	7	0
マレーシア	0	10	23	0
ミャンマー	2	5	10	0
モンゴル	0	1	30	3
ラオス	2	1	11	2
小計	303	387	1,269	185
オーストラリア	34	30	10	3
ニュージーランド	0	4	2	0
バブアニューギニア	0	0	1	0
フィジー	3	0	1	0
小計	37	34	14	3
アフガニスタン	0	0	3	0
アラブ首長国連邦	0	2	0	1

国・地域名	海外派遣数		外国人受入数	
	学生 ^{※1}	教員等	学生 ^{※2}	研究者等
イスラエル	1	0	0	0
イラン	0	0	2	1
オマーン	0	0	2	0
カタール	0	0	2	0
クウェート	0	1	0	0
トルコ	2	5	4	0
小計	3	8	13	2
アメリカ	93	136	17	20
カナダ	14	15	1	4
小計	107	151	18	24
アルゼンチン	0	3	3	0
エクアドル	0	1	0	0
キューバ	0	1	0	0
グアテマラ	0	0	1	0
コスタリカ	0	0	2	0
コロンビア	0	1	3	1
チリ	0	1	0	0
ドミニカ共和国	0	0	1	0
ニカラグア	0	1	0	0
パナマ	0	0	1	0
パラグアイ	2	2	3	13
バルバドス	0	1	0	0
ブラジル	4	3	16	2
ベネズエラ	0	0	1	0
ペルー	0	1	2	0
ポリビア	2	4	2	0
ホンジュラス	0	0	1	0
メキシコ	0	2	4	0
小計	8	21	40	16

注1:※1印は、交換留学、短期研修PG、サマースクール、海外留学支援制度、日中友好PG等を含む。
 注2:※2印は、2019年度在籍外国人留学生、JOYPG、海外留学支援制度、JSTさくらサイエンスプラン、日本文化研修団等を含む。

総合計



留学生受入数

2020年5月1日現在

区分	国費外国人留学生	私費外国人留学生		合計
		外国政府派遣	その他 [※]	
学部	学部生	31	164	220
	研究生	0	33	33
	特別聴講学生	1	31	32
大学院	修士課程・博士課程前期	24	378	404
	博士課程後期	63	107	174
	研究生・特別研究学生	8	17	25
	特別聴講学生	0	1	1
	科目等履修生	0	0	0
日本語研修生	1	0	0	1
合計	128	731	890	

注:※印は、日本政府・日本政府関係機関のプログラムや国際機関のプログラムによる留学生等を含む。

国際交流

学術交流協定締結大学

大学間協定 (42か国・地域、144大学・機関)

国・地域名	大学名	国・地域名	大学名
インド	インド統計研究所	パキスタン	ラホール工科大学
	インド工科大学マドラス校	フィリピン	サント・トマス大学
	インド工科大学ハイデラバード校		フィリピン大学
	インド理科大学院		交通運輸大学
	アンナ大学		ホーチミン市工科大学
インドネシア	インド工科大学グワハティ校		ダナン大学
	ランブン大学	ベトナム	ベトナム教育訓練省国際教育開発局
	バンドン工科大学		ベトナム国家大学ハノイ校経済経営大学
	インドネシア大学		ハノイ貿易大学
韓国	ソウル市立大学校		ベトナム国家大学ハノイ校
	高麗大学校	マレーシア	マレーシアマラッカ技術大学
	淑明女子大学校		マラヤ大学
	嶺南大学校		ウタラ・マレーシア大学
	延世大学校	ミャンマー	マンダレー大学
	済州大学校	モンゴル	新モンゴル工科大学
	釜慶大学校		モンゴル科学技術大学
	昌原大学校	トルコ	イスタンブール工科大学
	東亜大学校		オージン大学
	仁川大学校	エジプト	カイロ大学
タイ	ハンパット大学校	ケニア	ナイロビ大学
	タマサート大学		シェフィールド大学
	プリンス・オブ・ソンクラ大学	イギリス	カーディフ大学
	アジア工科大学		ノッティンガム・トレント大学
台湾	キングモンクート工科大学 トンブリ校		サザンプトン大学
	国立高雄大学		エジンバラ大学
	国立台湾大学	イタリア	イー・スト・アングリア大学
	国立清華大学		ピサ大学
	国立政治大学		ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学
中国	上海交通大学		ミラノ大学
	北京師範大学		ミラノ工科大学
	華東師範大学	オランダ	バドヴァ大学
	山西大学		デルフト工科大学
	天津大学	キルギス	キルギス国立建設技術大学
	清華大学		キルギス・トルコ・マナス大学
	大連理工大	スイス	中央アジア・アメリカ大学
	四川大学		ベルン大学
	北京大学・石河子大学	スペイン	グラナダ大学
	中山大学		ア・コルーニャ大学
	北京科技大学	スロベニア	リュブリャナ大学
	山東大学		オストラバ工科大学
	同済大学	チェコ	ズリーン・トマスバタ大学
	吉林大学		ザールラント大学
	中南大学	ドイツ	オスナブリュック大学
外交学院		エルフルト大学	
北京交通大学	ハンガリー	アウグスブルク応用科学大学	
上海健康医学院		ドレスデン工科大学	
国家留学基金管理委員会	フィンランド	セントイシュトヴァーン大学	
Bangladesh	ダッカ大学		オウル大学
	Bangladesh工科大学	フランス	パリ中央工科大学
			リヨン第3大学
			パリ東大学クレティユ校 (旧パリ第12大学)

2020年5月1日現在

国際みなとまち大学リーグ (14か国、19大学)

横浜の立地を活かした国際交流プロジェクトとして2006年に創設しました。世界有数の港町にある大学とともに市民も含めた交流を目指し、みなとに関わる歴史、文化、産業など幅広く考え港湾都市の未来を見つめます。

参加大学名	都市名
横浜国立大学	横浜 (日本)
横浜市立大学	
釜慶大学校	釜山 (韓国)
上海交通大学	上海 (中国)
インド工科大学マドラス校	チェンナイ (インド)
イスタンブール工科大学	イスタンブール (トルコ)
ホーチミン市工科大学	ホーチミン (ベトナム)
アレキサンドリア大学	アレキサンドリア (エジプト)
サザンプトン大学	サザンプトン (イギリス)
リスボン大学	リスボン (ポルトガル)
プリティッシュ・コロンビア大学	バンクーバー (カナダ)
サンパウロ大学	サンパウロ (ブラジル)
大連理工大	大連 (中国)
仁川大学校	仁川 (韓国)
キング・アブドゥルアズィズ大学	ジッダ (サウジアラビア)
山東大学	青島 (中国)
ゲント大学グローバルキャンパス	仁川 (韓国)
スマトラ工科大学	ランブン (インドネシア)
コーク・カレッジ大学	コーク (アイルランド)

2020年5月1日現在

国際ブランチ (6か国、6拠点)

国際ブランチは、新たな教育プログラムの実施、優秀な留学生を獲得するための広報活動、拠点国内の大学との交流、同窓会の開催などを中心に活動しています。

国名	オフィス名
ベトナム	ダナン大学ブランチ
中国	北京ブランチ
ブラジル	サンパウロ大学ブランチ
フィンランド	オウル大学ブランチ
タイ	プリンス・オブ・ソンクラ大学ブランチ
アメリカ	ポートルランド州立大学ブランチ

2020年5月1日現在

大学間協定に基づく覚書 (8か国、14大学、17部局)

国・地域名	大学名	部局名
中国	華東師範大学MBA教育センター	経営学部
	華東師範大学経済与管理学部	経済学部、経営学部
	大連理工大大学院国際交流PG	全学
	大連理工大建設工学部、建築芸術学院	大学院都市イノベーション学府
	上海交通大学大学院船舶海洋与建築工程学院	大学院理工学府、大学院都市イノベーション学府
清華大学自動車制御工学科	大学院理工学府・工学研究院	
韓国	昌原大学校工科大学	大学院理工学府
ベトナム	ダナン大学	全学
	ダナン大学工科大学	大学院都市イノベーション学府
	ベトナム国家大学ハノイ校日越大学	大学院国際社会科学府
	交通運輸大学	大学院都市イノベーション学府
アメリカ	ジョージア大学	全学
ブラジル	サンパウロ大学工科大学校	大学院理工学府
ブラグアイ	アスンシオン国立大学農学研究科	大学院都市イノベーション学府
	アスンシオン国立大学社会科学関連大学院	
イタリア	バドヴァ大学土木建築環境工学部、情報工学部、産業工学部、経営・工学部	大学院理工学府
チェコ	オストラバ工科大学金属・材料工学専攻	

2020年5月1日現在

国際連携拠点 (4か国、7拠点)

国際連携拠点として海外リエゾンオフィスを設置し、広報活動、帰国留学生との連絡及び同窓会活動、留学を希望する者への情報提供、大学からの訪問者のサポート、現地の教育研究に関わる情報の収集等を行っています。

国名	オフィス名
ブラジル	サンパウロ大学オフィス (2009年3月設置)
ベトナム	ホーチミン市オフィス (2009年3月設置)
ケニア	ナイロビ大学オフィス (2009年12月設置)
中国	華東師範大学オフィス (2011年10月設置)
	上海交通大学オフィス (2011年12月設置)
	大連理工大大学院オフィス (2012年3月設置)
	対外経済貿易大学オフィス (2013年6月設置)

2020年5月1日現在

国際交流

学術交流協定締結大学

部局間協定 (16か国・地域、33大学35部局)

2020年5月1日現在

国・地域名	大学名	部局名
インド	ペーロール工科大学土木化学工学部化学工学科	大学院工学研究院、大学院環境情報研究院
インドネシア	スマトラ工科大学地域・インフラストラクチャー技術学部	大学院都市イノベーション研究院
	ディボネゴロ大学工学部	大学院都市イノベーション学府
韓国	ソウル市立大学校工科大学	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
	国立釜山大学校工科大学	
	ソウル国立大学校工科大学	
	世宗大学校人文科学大学	都市科学部
	全南大学校工科大学	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
カンボジア	カンボジア工科大学	大学院工学研究院
シンガポール	南洋理工大學理学院	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
	シンガポール国立大学ビジネススクール	経営学部
タイ	チュラロンコン大学経済学部	経済学部
	チュラロンコン大学建築学部	大学院都市イノベーション学府
	チュラロンコン大学工学部	
	コンケン大学建築学部	
台湾	国立体育大学競技学院	教育学部
	国立中山大学工学院	大学院理工学府・工学研究院
	淡江大学外国語学院日本語文学系	都市科学部
	文藻外語大学欧亜語文學院日本語学科	経済学部
	国立成功大学経済学系	
台湾高雄医学大学医学院	教育学部	
中国	吉林大学管理学院	経営学部、大学院国際社会科学府経営学専攻
	大連理工大学ソフトウェア学院	大学院環境情報研究院
モンゴル	モンゴル国立大学工学・応用科学部	大学院工学研究院
イタリア	ヴェネチア建築大学	大学院都市イノベーション学府・研究院
	パドヴァ大学経営・工学部、情報工学部、産業工学部	大学院理工学府・工学研究院
	フィレンツェ大学情報工学部	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
	ミラノ工科大学工学院	
ウズベキスタン	タシケント金融大学	経営学部
オーストリア	グラーツ工科大学	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
ドイツ	アーヘン工科大学機械工学部、建築学部	理工学部、大学院理工学府、大学院環境情報学府、大学院都市イノベーション学府
フランス	テレコム・ビジネス・スクール	経営学部
オーストラリア	モナシュ大学	理工学部、大学院理工学府・工学研究院、大学院環境情報学府・研究院
	ニューカッスル大学工学・建設環境学部	理工学部、大学院理工学府・工学研究院
アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学医学部	

留学生向け教育プログラム

2019年度

プログラム名	実施部局	連携先	修了者数	
横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム	国際教育センター	協定校 (世宗大学校人文科学大学)	20	
教員研修留学生プログラム	大学院教育学研究科	文部科学省	1	
横浜国立大学経済学部・華東師範大学経済与管理学部とのダブルディグリー・プログラム	経済学部	協定校 (華東師範大学経済与管理学部)	0	
華東師範大学と横浜国立大学のMBAダブルディグリー・プログラム	大学院国際社会科学府	華東師範大学	1	
インドネシアリネージュマスタープログラム (ILP)		インドネシア政府	2	
公共政策・租税博士課程前期コース (PPT)		世界銀行	5	
アフリカ経済学ビジネスイニシアティブ (AEBI)		国際協力機構	0	
経済学専攻博士課程後期国際プログラム (I PhD)		なし		3
経済学専攻博士課程前期国際プログラム (IMAP)				5
経営学専攻博士課程後期日本の経営プログラム				1
横浜国立大学国際社会科学府日越大学インターンシッププログラム		協定校 (日越大学)・国際協力機構		13
国際経済法学専攻博士課程後期トランスナショナル法政策プログラム			なし	0
国際基盤工学特別プログラム		大学院都市イノベーション学府	文部科学省	3
インフラストラクチャー・管理学コース (IMP)	世界銀行		9	
横浜国立大学日本語・日本文化プログラム	国際教育センター	協定校 (文藻外語大学、淡江大学)	19	

留学生向け奨学金給付者数

2019年度

区分	学内奨学金 (YNU奨学金)	学外奨学金		合計	
		日本学生支援機構	その他		
学部	6	32	19	57	
大学院	修士課程・博士課程前期	4	5	18	27
	博士課程後期	2	11	14	27
合計	12	48	51	111	

注:国費・政府派遣による留学生は含みません。

財務・施設

貸借対照表

資産の部		負債の部	
金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
固定資産	106,289	固定負債	14,424
有形固定資産	104,934	資産見返負債	9,600
土地	73,892	引当金	4
建物	38,110	退職給付引当金	1
減価償却累計額等	▲17,078	その他引当金	2
構築物	3,302	その他の固定負債	4,819
減価償却累計額等	▲1,854	流動負債	4,364
工具器具備品	10,025	運営費交付金債務	87
減価償却累計額等	▲8,386	その他の流動負債	4,276
その他の有形固定資産	6,923	負債合計	18,788
その他の固定資産	1,355	純資産の部	金額 (百万円)
流動資産	2,949	資本金	97,453
現金及び預金	2,722	政府出資金	97,453
その他の流動資産	226	資本剰余金	▲7,462
		利益剰余金 (繰越欠損金)	459
		その他の純資産	-
		純資産合計	90,451
資産合計	109,239	負債純資産合計	109,239

注:金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

損益計算書

区分		金額 (百万円)	
経常費用 (A)		18,211	
業務費		17,335	
教育経費		1,945	
研究経費		1,149	
教育研究支援経費		293	
人件費		11,602	
その他		2,344	
一般管理費		873	
財務費用		2	
雑損失		0	
経常収益 (B)		18,383	
運営費交付金収益		8,281	
学生納付金収益		5,836	
その他の収益		4,265	
臨時損益 (C)		▲88	
目的積立金取崩額 (D)		0	
当期総利益 (当期総損失) (B-A+C+D)		83	

注:金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

科学研究費助成事業の交付決定状況

研究種目	交付決定件数	金額 (千円)
新学術領域研究 (研究領域提案型)	12	138,190
基盤研究 (S)	5	177,450
基盤研究 (A)	10	105,879
基盤研究 (B)	62	302,250
基盤研究 (C)	162	210,210
挑戦的研究 (開拓)	3	19,630
挑戦的研究 (萌芽)	20	57,770
研究活動スタート支援	2	2,470
奨励研究	1	540
若手研究	30	41,210
若手研究 (A)	4	13,260
若手研究 (B)	11	12,870
特別研究員奨励費	29	27,730
研究成果公開促進費 (研究成果公開発表)	3	1,230
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	2	12,740
合計	356	1,123,429

外部資金の受入状況

区分	受入件数	金額 (千円)
共同研究費	278	623,871
受託研究費	62	571,003
寄附金	591	500,749
合計	931	1,695,623

2018年度 決算額

収入の部		2018年度	
区分	金額 (百万円)	全体に占める割合	
運営費交付金	8,414	46.8%	
施設整備費補助金	208	1.2%	
補助金等収入	191	1.1%	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	0.2%	
授業料収入	4,571	25.4%	
入学科収入	764	4.3%	
検定料収入	232	1.3%	
雑収入 (財産処分収入含む)	646	3.6%	
産学連携等研究収入	2,357	13.1%	
寄附金収入	527	2.9%	
引当金取崩	3	0.0%	
目的積立金取崩	13	0.1%	
合計	17,965	100.0%	

注:金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

支出の部		2018年度	
区分	金額 (百万円)	全体に占める割合	
教育研究費	10,561	60.4%	
一般管理費	3,752	21.5%	
施設整備費	242	1.4%	
補助金等	182	1.0%	
産学連携等研究経費	2,264	12.9%	
寄附金事業費	437	2.5%	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	52	0.3%	
合計	17,493	100.0%	

注1:教育研究費には教員人件費、一般管理費には役員人件費及び職員人件費を含んでいます。
注2:金額は、百万円未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

土地・建物面積

2020年5月1日現在

区分	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	摘要	
横浜市	常盤台地区	455,531	200,941	下記以外の施設
	大岡地区	58,688	23,537	教育学部附属横浜中学校・特別支援学校、留学生会館、大岡インターナショナルレジデンス
	立野地区	20,856	7,660	教育学部附属横浜小学校
	寄宿舍	13,159	8,156	峰沢国際交流会館
鎌倉市内	宿舎	2,351	2,562	岩井住宅
	附属学校	43,923	12,371	教育学部附属鎌倉小・中学校、教育学部西御門運動場
	庭球場	16,608	51	教育学部西御門庭球場
平塚市内	宿舎	10,690	8,883	大船植木住宅
	平塚地区	18,273	0	平塚球場
真鶴町内	附属施設	2,407	965	大学院環境情報研究院附属臨海環境センター
山梨県清里	実習施設	(20,945)	1,029	教育学部野外教育実習施設
合計	642,490	266,159		

注1:山梨県清里の実習施設は、借地のため土地面積の合計に含んでいません。
注2:各区分の面積は小数点以下切り捨てのため、合計は必ずしも一致しません。

CAMPUS MAP

キャンパスマップ

キャンパス内路線バス

- ① 横浜国立大学正門前
- ② 国大中央
- ③ 国大北
- ④ 国大西
- ⑤ 学生会館前
- ⑥ 国大南門



0 40 200m

常盤台地区

事務局

- N1-1 納品検取センター
- N2-1 本部東棟
- N2-2 本部棟
- N2-3 本部西棟
- N2-4 事務局車庫
- S1-1 守衛所
- S5-1 学生センター

教育学部／教育学研究科

- S2-2 教育学部講義棟7号館
- S2-3 教職大学院
教育学部附属教育デザインセンター
- S3-1 教育学部講義棟6号館
- S3-2 教育学部第1研究棟
- S3-3 教育学系事務棟
- S3-4 教育学部第2研究棟
- S3-5 教育学部別棟
- S4-1 教育学部5号館(音楽棟)
- S4-2 教育学部4号館(美術棟)
- S4-3 教育学部第3研究棟

経済学部

- N4-1 経済学部1号館
- N4-2 経済学部講義棟1号館
- N4-3 経済学部講義棟2号館
- N4-4 経済学部新研究棟

経営学部

- N3-1 経営学研究棟
- N3-3 経営学部講義棟2号館
- N3-4 経営学部1号館
- N3-5 経営学部講義棟1号館

国際社会科学府・ 国際社会科学研究院

- N3-2 国際社会科学研究棟
- N4-5 法学研究棟

環境情報学府・環境情報研究院

- S6-1 環境情報4号棟
- S6-3 環境情報3号棟
- S7-5 環境情報1号棟
- S9-1 総合研究棟S棟・E棟

理工学部／理工学府・工学研究院

- N6-1 電子情報工学2号棟

理工学部／理工学府・工学研究院

- N6-2 電子情報工学棟
- N6-3 機械変電室
- N6-4 機械工学2号棟
- N6-5 機械工学・材料棟
- N6-6 材料工学実験棟
- N7-3 特別高圧実験棟
- N7-4 グリーン水素研究棟
- N7-6 機械工場A棟
- N7-7 機械工場B棟
- N7-9 機械工学実験棟
- N8-1 低温工学棟
- N8-3 エネルギー工学棟
- N8-4 理工学系事務棟
- N8-5 化工・安工棟
- N8-6 危険物屋内貯蔵所
- N10-1 船舶海洋工学棟
- N10-2 大型水槽実験棟
- N10-3 船舶海洋実験棟
- S5-3 理学研究棟
- S5-5 理工学部講義棟A
- S5-6 工学基礎研究棟
- S5-7 理工学部講義棟A(107)
- S5-8 理工学部講義棟B
- S5-9 理工学部講義棟C
- S7-1 大学院工学研究棟
- S7-2 生物・電子情報棟
- S7-6 化学棟
- S9-1 総合研究棟W棟

都市科学部／ 都市イノベーション学府・ 都市イノベーション研究院

- N5-1 建築構造実験棟
- N5-2 建築材料・環境実験棟
- N5-3 建築学棟
- S2-1 都市科学部講義棟
- S5-6 工学基礎研究棟
- S8-2 土木構造実験棟
- S8-3 土木工学棟
- S8-4 水理実験棟

全学教育研究施設等

- N2-3 男女共同参画推進部門
- N4-1 地域実践教育研究センター
- N4-1 成長戦略教育研究センター
- N7-2 全学共用棟B
- N7-5 全学共用棟A
- N8-2 機器分析評価センター
- N9-2 研究推進機構(共同研究推進センター棟)
- S1-2 教育文化ホール

全学教育研究施設等

- S1-3 国際教育センター
- S5-1 保健管理センター
バリアフリー推進部門
- S5-2 情報基盤センター別館
高大接続・全学教育推進センター
大学院教育強化推進センター
- S5-3 リスク共生社会創造センター
- S5-4 情報基盤センター
- S6-2 全学共用棟D
- S6-4 全学共用棟C
- S8-1 RI教育研究施設
- S9-1 産学官連携研究施設

高等研究院

- S7-4 先端科学高等研究院棟

附属図書館

- S3-6 中央図書館
- S7-3 理工学系研究図書館

運動・課外活動施設

- S0-1 体育サークル会館
- S0-2 運動場管理棟
- S1-6 文化サークル共用施設
- S1-7 体育館・武道館
- S1-8 弓道場射場

管理施設

- N7-1 エネルギーセンター
- N9-1 排水浄化センター

厚生施設

- N10-4 Sガーデン
(カフェテラス、コンビニエンスストア)
- N10-5 第2食堂、大学生協
- S1-4 第1食堂
- S1-5 学生会館

部局等所在地

2020年5月1日現在

部局等名称	所在地	問合せ先
事務局	総務企画部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 045-339-3014
	財務部	045-339-3043
	学務部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 045-339-3116
	施設部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 045-339-3083
	研究・学術情報部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 045-339-3192
教育学部・教育学研究科		045-339-3253
附属教育デザインセンター	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2	045-339-3481
附属高度理科教員養成センター		045-339-3488
教育学研究科教育相談・支援総合センター		045-339-3496
附属鎌倉小学校	〒248-0005 鎌倉市雪ノ下3-5-10	0467-22-0647 (小学校)
附属鎌倉中学校		0467-22-2033 (中学校)
		0467-22-0102 (事務室)
附属横浜小学校	〒231-0845 横浜市中区立野64	045-622-8322 (小学校)
		045-622-8321 (事務室)
附属横浜中学校	〒232-0061 横浜南区大岡2-31-3	045-742-2281 (中学校)
		045-742-2291 (特別支援学校)
附属特別支援学校		045-742-2282 (事務室)
野外教育実習施設	〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545-1	0551-48-2605
経済学部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3	045-339-3602
附属アジア経済社会研究センター		045-339-3519
経営学部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4	045-339-3602
国際社会科学府・国際社会科学研究院		
理工学部・理工学府・工学研究院	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-3804
都市科学部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6	045-339-4462
環境情報学府・環境情報研究院	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7	045-339-4422
附属臨海環境センター	〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩61	0465-68-0055
都市イノベーション学府・都市イノベーション研究院	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-3827
附属図書館	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6	045-339-3204
先端科学高等研究院	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4454
リスク共生社会創造センター		045-339-3776
ダイバーシティ戦略推進本部	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	045-339-3031
バリアフリー推進部門障がい学生支援室	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8	045-339-3118
研究推進機構		045-339-3192
機器分析評価センター	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4406
RI教育研究施設		045-339-4410
国際戦略推進機構		
国際戦略室	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	045-339-3036
国際教育センター		045-339-3186
地域連携推進機構	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4455
地域実践教育研究センター	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3	045-339-3579
成長戦略教育研究センター	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4	045-339-3593
情報戦略推進機構	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4390
情報基盤センター		
安全衛生推進機構	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	045-339-3070
保健管理センター		045-339-3153
高大接続・全学教育推進センター	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8	045-339-3141
大学院教育強化推進センター		
学生会館	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10	045-339-3149
峰沢国際交流会館	〒240-0061 横浜市保土ヶ谷区峰沢町305-1	045-336-2222
留学生会館	〒232-0061 横浜南区大岡2-31-1	045-742-2845
大岡インターナショナルレジデンス	〒232-0061 横浜南区大岡2-31-2	0120-948-790
常盤台インターナショナルレジデンス	〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-9	045-900-1451
教育文化ホール	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	045-339-3086
産学官連携研究施設	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4447

交通案内

常盤台・大岡・立野地区

常盤台地区

横浜駅西口		
市営バス	11番ポール	202系統・循環外回り、横浜新道又は岡沢町下車
	14番ポール	201系統・循環内回り、急行329系統横浜駅西口行、岡沢町・横浜新道又はキャンパス内*各バス停車
神奈中バス	13番ポール	01系統・中山駅行、岡沢町又は横浜新道下車
相鉄バス	9番ポール	浜11系統・上星川駅行、釜台住宅第3行、ひじりが丘又は釜台住宅第1・第2下車
	10番ポール	浜5系統・交通裁判所経由 横浜駅西口行、岡沢町下車 浜10系統・横浜駅西口行、岡沢町・横浜新道又はキャンパス内*各バス停車
相模鉄道	和田町駅下車 (徒歩20分)、羽沢横浜国大駅下車 (徒歩15分)	
市営地下鉄	三ツ沢上町駅下車 (徒歩16分)	

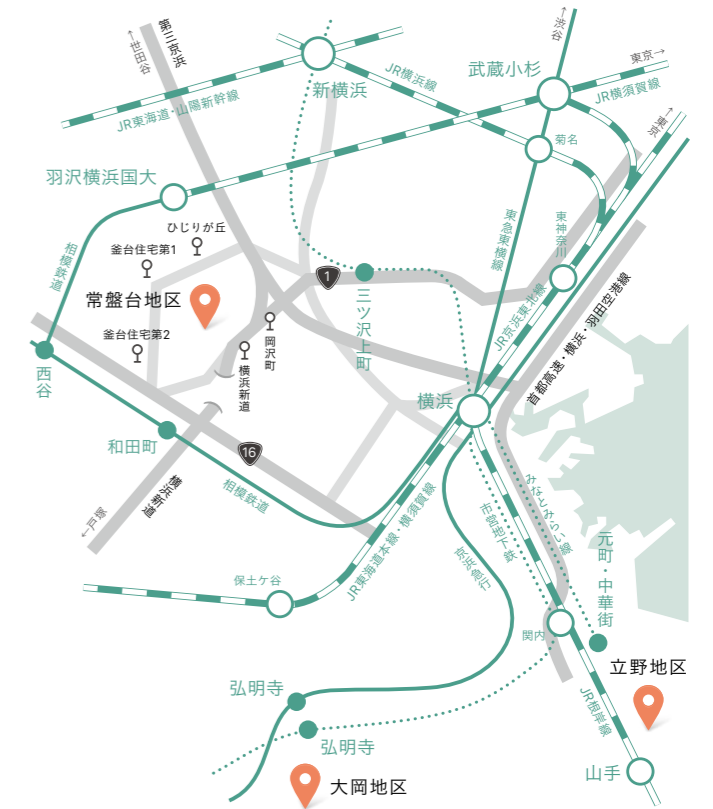
*キャンパス内へのバス乗入れは平日のみです。

大岡地区 (教育学部附属横浜中学校、附属特別支援学校)

市営地下鉄	弘明寺駅下車 中学校 (徒歩1分)、特別支援学校 (徒歩5分)
京浜急行	弘明寺駅下車 中学校 (徒歩8分)、特別支援学校 (徒歩15分)

立野地区 (教育学部附属横浜小学校)

JR根岸線	山手駅下車 (徒歩7分)
-------	--------------



鎌倉地区



教育学部附属 鎌倉小・中学校

JR横須賀線	鎌倉駅下車 (徒歩15分)
--------	---------------

真鶴地区



環境情報研究院附属臨海環境センター

JR東海道線	真鶴駅下車 (徒歩15分)
--------	---------------

YNU

国立大学法人 横浜国立大学

発行：2020年8月

編集：横浜国立大学総務企画部学長室

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号

TEL：045-339-3027 FAX：045-339-3179

E-mail：press@ynu.ac.jp

www.ynu.ac.jp

